

はじめに

新入生の皆さん、同志社大学への入学おめでとうございます！

この冊子では、同志社大学在学中に留学を目指している

皆さんに向けて、様々な情報をお届けします。

新入生の方、在学生の方、また同志社大学への入学希望者の方など

幅広い方を対象にしていますので、以下を参照のうえ、

ご自身の関心に合わせて積極的に情報収集を進めてください。

この冊子の内容は、基礎編と応用編に分かれます。

在学中の留学を実りあるものにするためには、
早めの準備と計画が大切です。
ご自身の現在のステージや目標に応じて、
ぜひ「海外留学ロードマップ 2026」を活用してください！

基礎編

「留学について初めて調べる」という方は、まず目次ページの「**1留学の全体像を知ろう**」、「**2留学の情報収集**」を中心に読み進めてみましょう。これらのページで、基本的な情報をおさえた後に、それ以外の項目に進むと具体的な情報や応用的な内容もわかりやすくなるでしょう。

応用編

「すでに留学に関して情報収集を行っている」という方は、目次ページから、ご自身の知りたい項目を中心に読み進めましょう。「**3留学プログラム**」では各プログラムの詳細情報を調べられますし、「**4留学準備**」では、奨学金や学内リソース等留学前に活用できる様々な制度を紹介しています。また「**5留学中**」や「**6留学後**」で、留学中の自身をイメージしたり、留学後就職活動等にどうつなげるかを想定しておくとい良いでしょう。

CONTENTS

STUDY ABROAD ROADMAP

1 留学の全体像を知ろう

同志社大学のグローバル人材育成の特徴	2
大学生活と留学プラン・留学の選び方	4
留学制度概要	6
国際課が管理する語学研修プログラム／ 派遣留学先大学・機関一覧	8
学部・研究科等による留学プログラム	10

2 留学の情報収集

留学スケジュール	12
各種相談窓口	14
留学お役立ち情報 （“Go Global” ポートフォリオ:GGP など）	16

3 留学プログラム

サマープログラム	18
スプリングプログラム	20
セメスタープログラム	22
EUキャンパスプログラム	24
派遣留学（大学間協定）プログラム	26
留学体験記	28

4 留学準備

奨学金	34
語学力向上・語学試験における本学のサポート・ 国際関係科目・留学生との交流	38

5 留学中

留学先での生活	43
---------	----

6 留学後

留学と就職活動	46
Study Abroad × Career Design Sheet	47
Doshisha “Go Global” Passport	48

7 資料・データ編

短期プログラム・EUキャンパスプログラム 統計	49
派遣留学（大学間協定）プログラム 統計	50
関連規程	54

同志社大学のグローバル人材育成の特徴



同志社大学が育成するグローバル人材とは？

同志社大学が育成するグローバル人材は、異なる文化や価値観を理解・寛容する心を持ち、優れた外国語運用能力や専門知識を「良心を手腕に運用する」ことのできる人物です。在学中の様々な経験や出会いを通じて、広い視野と多様性を尊重する心を培っていくとともに、自身の専攻に関する専門的な知識や、コミュニケーションツールとしての優れた外国語運用能力を習得し、「良心」をもってグローバル化した社会における多様な舞台で活躍してほしいと考えています。大学を卒業して進む道は、皆さん一人ひとりが決めることです。自分が進むべき道を決める上で必要となる知識や経験を、同志社大学で提供される科目やプログラム、交流、サポートを通じて体得してください。

1

留学する、しないを問わず、自分に合ったプログラムを通してグローバル人材に成長できる！

留学型

留学「前」と「後」の徹底サポートを通して、より一層留学経験の成果を上げる

国内型

国内にしながら、グローバルな視野と外国語運用能力を養う

2

目標を「見える化」する本学独自のシステムを用いてモチベーションを高めながら学べる！

“Go Global” ポートフォリオ

ここでチェック https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal_portfolio/goglobal_portfolio.html



3

「グローバル人材」の条件を満たす学生には、その証明を授与！

Doshisha “Go Global” Passport

ここでチェック https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal_passport/goglobal_passport.html



実践力を加速させる

留学型

グローバル人材になるための基礎固め

- 自分のニーズに応じてプログラムを選択
- ポートフォリオに目標を記入

グローバル人材関連科目

- ・建学の精神とキリスト教
- ・旧約聖書とキリスト教
- ・新約聖書とキリスト教
- ・ジョイント・セミナー比較文化論
- ・日本近現代史
- ・世界近現代史
- ・世界の宗教

P.42

語学力強化

正課科目

- ・Study Abroad Preparation (TOEFL TEST)
- ・Study Abroad Preparation (IELTS)

正課外科目

- ・IELTS™ 対策講座
- ・TOEIC® L&R テスト対策講座

P.38~

※ TOEFL® および TOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

外国語による科目履修

ILA 科目
グローバル・リベラルアーツ
副専攻英語開講科目

SAP 科目
AKP 科目
KCJS 科目
スタンフォード大学科目
チュービンゲン大学科目

P.40~

外国語による科目履修

留学生とともに学び、グローバル感覚を養う

ILA 科目や SAP 科目など、同志社大学では外国語で行われる様々な科目を提供しています。これらの科目履修を通じて、日本にしながら疑似的に留学経験を積むことができ、グローバルに活躍できる能力を養います。

海外留学

海外留学

- ・海外経験
- ・外国語の実践学習

P.18~

国内疑似留学経験

- ・国内・学内での多様な経験
- ・留学生との交流
- ・留学生との共同プロジェクト

P.42

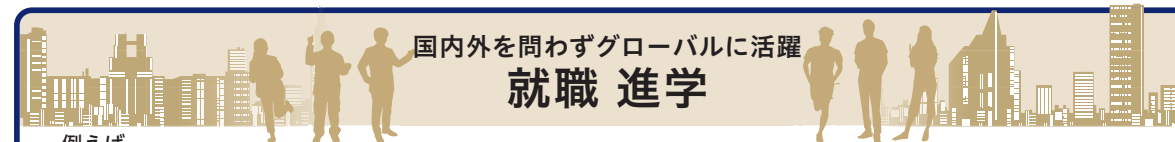
グローバル人材に成長

条件をクリアして
Doshisha “Go Global” Passport 取得

グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証しとなり、あなたの努力がカタチとして残ります。

P.48

グローバル人材に成長



国内外を問わずグローバルに活躍 就職 進学

例えば…

- ・商社に就職して海外とのビジネスに携わる
- ・グローバルに展開するメーカーに就職して活躍する
- ・国際感覚豊かな教育者になる
- ・国際的な金融機関に就職して国を越えた投資案件に携わる
- ・途上国で人権保護活動に携わる
- ・海外をフィールドに研究活動を行う

資料・データ編

留学制度概要

「語学力向上」または「専門科目学習・研究」を目的とした留学プログラム

留学種別		期間	概要	詳細
	サマープログラム	2～4週間	同志社大学の夏期または春期休暇中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムです。研修先の生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	P.18、P.20
	スプリングプログラム			
	セメスタープログラム	1セメスター	同志社大学の秋学期期間中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムで、英語を集中的に海外の大学付属語学学校で学びます。4ヵ月にわたって現地で学ぶことにより、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	P.22
	EUキャンパスプログラム	1セメスター	同志社大学の春学期または秋学期期間中に、ドイツ・チュービンゲン大学内にある「同志社大学チュービンゲンEUキャンパス」にて実施するプログラムです。春学期にはドイツ語の運用能力向上や、ドイツ・EUの異文化や価値観への理解を深めることを目的とした「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」を、秋学期には英語でドイツやヨーロッパについての学びを深めることを目的とした「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講しています。	P.24
	派遣留学	1セメスター/ 1年間	同志社大学が学生交換協定を締結している海外の大学(海外協定校)で「留学先の言語で専門分野の学習や研究を行うこと」が主目的のプログラムです。原則として、現地の大学で学部・大学院レベルの科目を履修します。「大学間協定」(担当部署:国際課)と「学部・研究科間協定」(担当部署:各学部・研究科事務室)の2種類があります。	P.26
	認定留学	個人による	学生個人で手配し、本人からの申請に基づき、本学の審査・了承を得て、海外の大学またはこれに相当する高等教育機関に「在学留学」として留学する制度です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学期間は在学と見なされる他、留学先で取得した単位を単位認定申請できる可能性があります。	—
	休学留学	個人による	学生個人で手配し、本学を休学して自主的に行う留学です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学先機関(大学や語学学校など)や留学期間を柔軟に選択することができます。	—

アーモスト大学への留学生派遣制度



同志社の創立者である新島襄が卒業したアメリカ屈指のリベラルアーツカレッジであるアーモスト大学に編入する制度です。本制度で派遣される留学生は、アーモスト大学の3年生に正規学生として編入し、正規の課程を修了すれば2年後にはアーモスト大学の卒業生となることができます。「新島スカラー」と「同志社新島スカラー」の2種のいずれか(両スカラーともに、授業料および寮費・食費相当額を2年間にわたって支給する奨学金)のもと、同志社から毎年1名がアーモスト大学へ派遣されます。

詳しくは、学校法人同志社ホームページをご参照ください。

<http://www.doshisha.ed.jp/works/scholar.html>



「異文化理解」・「国際教養」を身につけることを目的としたプログラム

国際教養教育院が提供する海外フィールドワーク科目(Freshman "Go Global" ProgramおよびMid-college "Be Strong" Program)は、語学研修ではなく、海外での短期研修を通して、多様な価値観を実感するとともに、歴史・政治・経済などといった国際教養を身につけることを目的としています。この科目は、合格評価が得られれば2単位若しくは4単位を取得することができます。事前授業を受けた後、現地で研修を行い、帰国後には報告・総括を行います。詳しくは、P.11や海外フィールドワーク科目のページをご参照ください。

<https://www.doshisha.ac.jp/international/fieldwork/index.html>



留学と卒業／費用の関係

		卒業要件		留学に掛かる費用			本学を通して 申請可能な 奨学金制度		
		留学期間の 修業年限への 算入	留学中に 修得した 単位の認定	学費		その他			
				本学の学費	留学先の学費	諸費用 (例:住居費、 往復渡航費等)			
履修科目による留学	サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラム 学部・研究科の科目 等	○	— 科目として登録する ため、合格時に科目 の単位を修得	○	○ (プログラム費用に 含まれる)※	○ (プログラム費用に 含まれる)	○		
在学留学	ヨーロッパ・スタディーズ EUキャンパスプログラム	○	△ 一部は科目として登録するため、 合格時に科目の単位を修得	○	×	△ (往復渡航費はプログ ラム費用に含まれない)	○		
	派遣留学	○	○	○	×	○	○		
	認定留学	○	○	○	○	○	○		
休学留学		×	×	— 別途、休学在籍料の 納入が必要	○	○	×	×	(一部を除く)

※ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムは、留学先の学費が免除される。

国際課が管理する語学研修プログラム／派遣留学先大学・機関一覧

(2026年3月現在)

ヨーロッパ

アイルランド

- コーク・カレッジ大学
- ★ ダブリン・シティ大学人文社会科学部

アゼルバイジャン

- ★ ハザール大学

イギリス

- ★ ウォーリック大学
- ★ エディンバラ大学
- ケンブリッジ大学
- セントキャサリNZコレッジ
- ★ シェフィールド大学
- ★ マンチェスター大学
- ▲ ヨーク大学
- ★ リーズ大学
- ★ ロンドン大学 (SOAS)

イタリア

- ★ ヴェネツィア大学
- ★ トリノ大学
- ★ ボローニャ大学
- ★ ミラノ大学言語文化・異文化コミュニケーション学科
- ★ ローマ大学

オランダ

- ★ ハーグ応用科学大学
- ★ ライデン大学

スイス

- ★ チューリヒ大学
- ★ ルツェルン大学

スウェーデン

- ★ ヨーテボリ大学経済商法学部

スペイン

- ▲ ★ サラマンカ大学
- ★ サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学
- ★ バルセロナ自治大学
- ★ ボンベウファブラ大学

チェコ

- ★ カレル大学
- ★ 西ボヘミア大学
- ★ マサリク大学

デンマーク

- ★ オーフス大学教養学部

ドイツ

- ◆ ★ テュービンゲン大学
- ★ デュッセルドルフ大学
- ▲ フライブルク大学
- ★ フランクフルト大学
- ★ マインツ大学
- マルティン・ルター大学
- ★ ミュンヘン大学文化学部
- ★ オスナブリック大学

中近東

イスラエル

- ★ ヘブライ大学

ノルウェー

- ★ オスロ大学
- ★ ベルゲン大学

ハンガリー

- ★ エトヴェシュ・ローランド大学
- ★ ペーチ大学

フィンランド

- ★ イースタン・フィンランド大学
- ★ タンペレ大学
- ★ ヘルシンキ大学

フランス

- ★ エクス・マルセイユ大学
- ★ エクセリア・グループ
- ▲ CAVILAM (クレルモン・フェラン大学監修)
- ★ 国立東洋言語文化大学
- ★ サンジェルマン・アン・レー政治学院
- ★ ストラスブール大学
- ★ ソルボンヌ大学文系学部
- ★ パリ政治学院
- ★ パリ大学 - ナンテール
- マリー・エ・ルイ・パストゥール大学
- ★ リヨン政治学院
- ★ レンヌ政治学院

ベルギー

- ★ トマスモア応用科学大学
- ★ ブリュッセル自由大学

ポーランド

- ★ ヤゲウォ大学
- ★ ワルシャワ大学

リトアニア

- ★ ヴィータウタス・マグナス大学

ルーマニア

- ★ ブカレスト大学

ロシア

- ★ サンクトペテルブルク経済大学

アジア

中国

- ▲ 華東師範大学
- ★ 吉林大学
- ★ 暨南大学
- ★ 西安交通大学
- ★ 清華大学
- ★ 西北大学
- ★ 中国人民大学
- ★ 天津外国語大学
- ★ 武漢大学
- ★ 復旦大学
- ★ 北京師範大学
- 北京大學
- ★ 北京大學歴史学部

中国・香港

- ★ 香港教育大学
- ★ 香港城市大学
- ★ 香港中文大学
- ★ 嶺南大学

韓国

- ★ 仁川大学
- ★ 韓国外国語大学
- ▲ 慶熙大学
- ★ 高麗大学
- ★ ソウル市立大学
- ★ ソウル女子大学
- ★ ソウル大学
- ★ 全南大学
- ★ 延世大学
- ★ 梨花女子大学
- ★ 嶺南大学

台湾

- ★ 国立政治大学
- ★ 国立台湾師範大学
- ★ 国立台湾大学
- ★ 静宜大学
- ★ 淡江大学
- ★ 中国文化大学
- ★ 東呉大学
- ★ 輔仁大学

フィリピン

- ★ アテネオ・デ・マニラ大学
- ★ デラサール大学
- ★ フィリピン大学ディリマン校

マレーシア

- ★ マラヤ大学
- ★ マレーシア科学大学
- ★ マレーシア国際イスラーム大学

タイ

- ★ タマサート大学
- ★ チュラロンコン大学
- ★ バヤップ大学

ベトナム

- ★ ハノイ工科大学

インドネシア

- ★ ガジャマダ大学

オセアニア

オーストラリア

- ★ ウーロンゴン大学
- ★ サンシャイン・コースト大学
- ★ シドニー大学
- ★ チャールズ・ダーウィン大学
- ▲ ■ ディーキン大学
- ★ ニューイングランド大学
- ★ ニュー・サウス・ウェールズ大学
- ▲ ホーソン・メルボルン英語学校
- ★ マドック大学
- ★ マッコリー大学
- ★ メルボルン大学

ニュージーランド

- ★ ウェリントン・ビクトリア大学
- ▲ オークランド大学
- ▲ オタゴ大学

- サマープログラム (14プログラム)
- ▲ スプリングプログラム (11プログラム)
- ◆ EUキャンパスプログラム (2プログラム)
- ★ 派遣留学プログラム (世界37ヵ国・地域、172大学)
- セメスタープログラム (2プログラム)

北中南米

カナダ

- ■ ゲルフ大学
- ▲ トンプソン・リバーズ大学
- ★ ビクトリア大学
- ★ ビショップス大学
- ★ プリティッシュ・コロンビア大学
- ★ モントリオール大学文理学部
- ★ レイクヘッド大学
- ★ ロイヤルローズ大学

アメリカ

- ★ アーモスト大学 [AKP]
- ★ ウィットマン大学 [AKP]
- ★ ウィリアムズ大学 [AKP]
- ★ ウェズリアン大学 [AKP]
- ★ オーバリン大学 [AKP]
- ★ カールトン大学 [AKP]
- ★ コネチカット大学 [AKP]
- ★ コルビー大学 [AKP]
- ★ スミス大学 [AKP]
- ★ バックネル大学 [AKP]
- ★ ベイツ大学 [AKP]
- ★ ボモナ大学 [AKP]
- ★ マウントホリヨーク大学 [AKP]
- ★ イェール大学 [KCJS]
- ★ エモリー大学 [KCJS]
- ★ コーネル大学 [KCJS]
- ★ コロンビア大学 [KCJS]
- ★ シカゴ大学 [KCJS]
- ★ スタンフォード大学 [KCJS]
- ★ タフツ大学 [KCJS]
- ★ バージニア大学 [KCJS]
- ★ ハーバード大学 [KCJS]
- ★ ブラウン大学 [KCJS]
- ★ プリンストン大学 [KCJS]
- ★ ペンシルベニア大学 [KCJS]
- ★ ボストン大学 [KCJS]
- ★ ワシントン大学セントルイス [KCJS]
- ★ アーカンソー工科大学
- ★ ウェスタンミシガン大学
- ★ エンブリー・リドル航空大学

アルゼンチン

- ★ トルキュアト・ディ・テラ大学

チリ

- ★ チリ・カトリカ大学

コスタリカ

- コスタリカ・ラテン大学

メキシコ

- ★ ラス・アメリカス大学

[AKP] Associated Kyoto Program (AKP) 加盟校
[KCJS] Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) 加盟校

学部・研究科等による留学プログラム

派遣留学(学部・研究科間協定)プログラム

学部・研究科が独自に海外大学と学生交換協定を締結しているプログラムです。学部・研究科の研究分野に合致した協定先であることが多く、学業上の相関関係が高いことが特徴です。このプログラムには、所属している学部・研究科の学生のみが参加できます。派遣留学(学部・研究科間協定)プログラムは、原則として大学間協定と同様、留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な在学期間である修業年限(学部生は4年)に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます。ただし、プログラムによっては取扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、所属学部・研究科にご確認ください。

学部・研究科間協定校一覧

学部・研究科	大学名	国名	備考
神学部・神学研究科	ハイファ大学人文学部	イスラエル	
	メソジスト神学大学校	韓国	
	チューリヒ大学神学部	スイス	
文学部・文学研究科	国立政治大学文学院	台湾	
	ケルン大学人文学部	ドイツ	
社会学部	ケルン大学人文学大学院	ドイツ	
	復旦大学社会発展・公共政策学院	中国	
社会学部・社会学研究科	華東理工大学社会・公共管理学院	中国	
	中央大学校社会科学部社会福祉学科	韓国	
法学部	江南大学校福祉融合大学社会福祉学部・一般大学院社会福祉学科	韓国	
	アリゾナ大学ロースクール	アメリカ	ダブルディグリープログラム
法学部・法学研究科	モントリオール大学法学部	カナダ	
	チューリヒ大学法学部	スイス	
	東呉大学法学院	台湾	
	トゥールーズ第1大学法政治学部	フランス	
	シエナ大学	イタリア	
	中国政法大学	中国	
	テュービンゲン大学法学部	ドイツ	
法学研究科	チューリヒ大学法学部	スイス	ダブルディグリープログラム
	チューリヒ大学政治学科	スイス	
	タマサート大学法学部	タイ	ダブルディグリープログラム
	中国人民大学法学院	中国	ダブルディグリープログラム
	中国人民大学国際関係学院	中国	
	ベトナム国家大学ハノイ校法学部	ベトナム	
	東呉大学法学院	台湾	ダブルディグリープログラム
	リーズ大学社会科学部	イギリス	ダブルディグリープログラム
	中国政法大学	中国	ダブルディグリープログラム
	ミラノ大学社会政治学部	イタリア	
	ブリュッセル自由大学	ベルギー	
経済学部	デュースブルク＝エッセン大学メルカトール経営学院	ドイツ	
	慶星大学商経学部	韓国	
商学部	延世大学校経営学部	韓国	
	マレーシア科学大学経営学部	マレーシア	
	国立高雄大学管理学部	台湾	
	チュラロンコン大学経済学部	タイ	
	ベルリン自由大学経営・経済学部	ドイツ	
	中国人民大学統計学院	中国	
文化情報学部	デュッセルドルフ大学芸術人文学部	ドイツ	
	高麗大学政治経済学部	韓国	
	淡江大学外国語文学院	台湾	
	国立高雄大学人文社会科学部	台湾	
	国立中山大学文学部	台湾	
文化情報学研究科	湖南大学	中国	
	国立高等鉱業学校アルピ・カルモー校	フランス	ダブルディグリープログラム
理工学部・理工学研究科	フランス国立高等工芸学校	フランス	
	ザールラント大学第8学部	ドイツ	
	アテネオ・デ・マニラ大学理工学科	フィリピン	
	キングモンクット工科大学ラートクラバン校	タイ	
	ノルウェー科学技術大学	ノルウェー	
	西ボヘミア大学 機械工学部	チェコ	
	モントリオール理工科大学	カナダ	
	マレーシア科学大学	マレーシア	
理工学研究科	ハノイ工科大学電気工学部	ベトナム	
	汕頭大学 工学院・理学院	中国	
	西安交通大学 大学院	中国	ダブルディグリープログラム
	大連理工大学 物理学院	中国	
	西安電子科技大学	中国	ダブルディグリープログラム
	ユルドゥス工科大学理工学研究科	トルコ	

学部・研究科	大学名	国名	備考
理工学部・理工学研究科 / 生命医科学部・生命医科学研究科	ウィーン工科大学	オーストリア	ダブルディグリープログラム
	モンズ大学	ベルギー	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リール	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リヨン	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル マルセイユ	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル ナント	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル パリ セントラルスビレック	フランス	ダブルディグリープログラム
	リール国立化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム
	ミラノ工科大学	イタリア	ダブルディグリープログラム
	チェコ工科大学	チェコ	
	パリ国立高等鉱業学校	フランス	
	ソルボンヌ大学理工学部	フランス	
	パリ・シテ大学基礎生物医工学部	フランス	
	エクス・マルセイユ大学理学部およびポリテック・マルセイユ	フランス	
	パリ市立工業物理化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム
	マドリッド工科大学生産工学部・通信工学部・情報工学部	スペイン	ダブルディグリープログラム
	リスボン大学高等工科学院	ポルトガル	
	オットー・フォン・ゲーリケ大学マクデブルク コンピュータサイエンス学部	ドイツ	
	トレント大学大学院社会学・社会調査学研究科	イタリア	
スポーツ健康科学部	オスナブリック大学教育文化学部スポーツ運動学科	ドイツ	
	テュービンゲン大学経済学・社会学部スポーツ科学研究所	ドイツ	
	ミュンスター大学心理学・スポーツ科学部スポーツ運動科学研究所	ドイツ	
	マドリッド工科大学 身体活動・スポーツ科学部	スペイン	
	カレル大学体育スポーツ学部	チェコ	
グローバル・コミュニケーション学部	アケイディア大学	カナダ	
	サウサンプトン大学	イギリス	
	サセックス大学	イギリス	
	パリ・シテ大学	フランス	
	東海大学文学院	台湾	
グローバル地域文化学部	延世大学校グローバル創意融合大学国語国文学科	韓国	
グローバル・スタディーズ研究科	社会科学高等研究院	フランス	
	オールボー大学	デンマーク	
ビジネス研究科	中国人民大学商学院	中国	
	テュービンゲン大学経済社会学研究科	ドイツ	
	ヨーテボリ大学大学院経済商法学研究科	スウェーデン	
	国立台湾師範大学管理學院	台湾	
	ガジャ・マダ大学経済ビジネス学部	インドネシア	
	スタヴァンゲル大学 ビジネススクール	ノルウェー	
	ベルリン自由大学経営・経済学部	ドイツ	
国際教育インスティテュート (ILA)	IE 大学	スペイン	
	ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン社会・歴史科学部人類学科	イギリス	
	マストリヒト大学 マストリヒトカレッジ	オランダ	

正課科目での海外渡航プログラム

学部等において、専門分野に関係した内容等により、正課科目として海外に渡航するプログラムを実施しています。詳しくは、実施学部等にご確認ください。

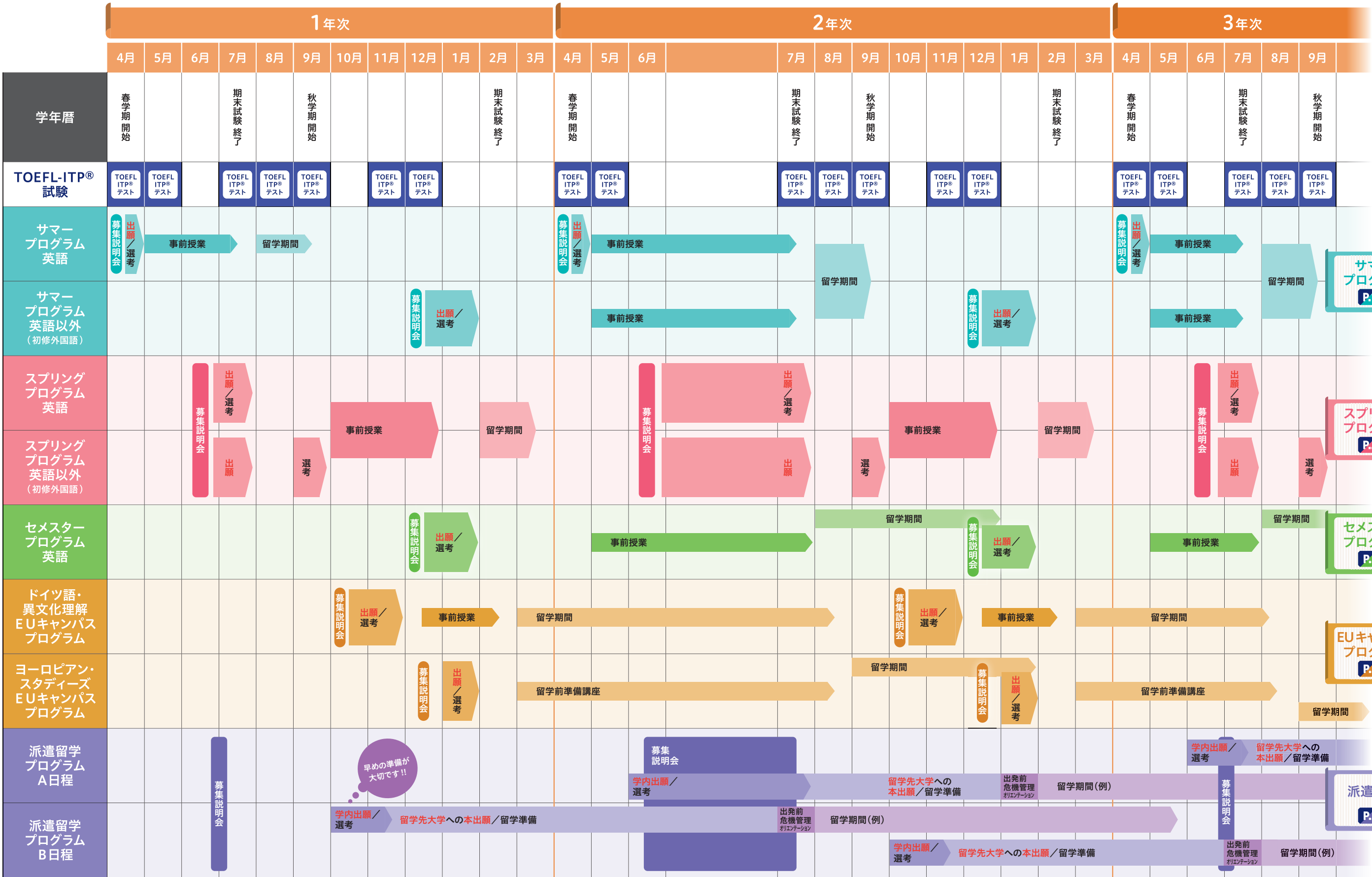
プログラム一覧

実施学部等	科目名	渡航国・地域	渡航先機関・概要	渡航期間
神学部	宗教と国際社会	アジア	現地の社会福祉施設 他	8月(約1週間)
文学部	西洋・東洋文化史実地演習	台湾	台南・台北の史跡探究と国立政治大学での講義と学生交流	9月(約1週間)
社会学部	国際社会福祉実習	韓国	江南大学、その他(福祉施設、NPO)	9月(約1週間)
社会学部	異文化体験実習	カナダ 他	ピクトリア大学、Steveston 地域訪問 他	9月(約1週間)
法学部	特殊演習	台湾	国立中正大学	8月(約2週間)
商学部	海外ビジネスII	アメリカ、タイ	各都市の日系企業訪問 他	9月(約1週間)
文化情報学部	文化情報学トピックス -Open Doors Program:Exploring New Orleans- 文化情報学トピックス -Short Program in Heinrich Heine University-	アメリカ	ニューオリンズ大学	3月(約2週間)
理工学部	学外実習1	フィリピン	セブでの語学研修、日系企業訪問	2月～3月(約2週間)
生命医科学部	特別講義・海外企業体験・ 海外キャリアリサーチ	ドイツまたはイギリス アメリカ	現地日系企業訪問 他 ロサンゼルスでの語学研修、カリフォルニア大学アーバイン校 他	9月(約2週間) 8月～9月(約3週間)
スポーツ健康科学部	インターンシップ演習	韓国	現地日系企業訪問	8月～9月(約2週間)
	インターンシップ演習	マレーシア	現地日系企業訪問	8月～9月(約2週間)
	スポーツ健康科学特殊講義S	カナダ	トロント、バンクーバー	3月(約1週間)
	スポーツ健康科学特殊講義S	ドイツ	ドイツのスポーツ施設 他	8月～9月(約1週間)
グローバル・コミュニケーション学部	日本のツーリズム(002)	台湾	東海大学 他	8月～9月(約2週間)
グローバル地域文化学部	海外語学プログラム(英語)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	アメリカ	ウェスタン・ミシガン大学	8月～12月(約4ヵ月)
国際教養教育院	Freshman "Go Global" Program	ベトナム	ホーチミンでの日系企業、学校施設等の訪問 他	2月～3月(約1週間)
	Freshman "Go Global" Program (2026年度休講)	ドイツ 他	同志社大学テュービンゲンEUキャンパス 他	2月～3月(約1週間)
	Mid-college "Be Strong" Program	アメリカ	ワシントンDCでの政府関係機関、日系企業の訪問 他	8月～9月(10日間)

※科目の開講や渡航先・期間は年度によって異なります。詳しくは、実施学部等にご確認ください。
※上記以外に学部・研究科独自の海外渡航プログラムがある場合があります。詳細は、各学部・研究科にご確認ください。

留学スケジュール

- 下記スケジュールは変更になる可能性があるため、国際課HP／掲示板にて最新の情報をご確認ください。
- 下記派遣留学の「本出願（＝本学の候補者となった後に、留学先大学へ出願書類を準備すること）」の時期は、留学先により異なります。



※TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。

各種相談窓口

相談内容	相談窓口	今出川校地	京田辺校地
派遣留学(大学間) サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム EUキャンパスプログラム 留学に関する奨学金	国際課 ■留学コーディネーター ■Go Global Assistant ■アーモストフェロー	扶桑館1階	嗣業館1階
単位認定の方法 派遣留学(学部・研究科間) 認定留学	所属学部・研究科	—	—
外国語教育科目の登録方法 語学カウンセリングの予約	教務センター 外国語教育科目 担当窓口	良心館1階	嗣業館1階
就職活動	キャリアセンター	寒梅館2階	日糧館2階

P.7

P.38

P.46

■ 留学コーディネーター

本学では、グローバルに活躍することを目指す皆さんに快適な学習環境を提供するため、多文化交流の拠点となる「Global Village」や「国際交流ラウンジ」(P.42参照)があり、留学相談に応じる留学コーディネーターを配置しています。留学コーディネーターは、一人ひとりの皆さんと留学プランについて話し合い、プログラムの選択、準備方法、留学中の活動や注意点、さらに留学後の取り組みを具体化することでグローバル社会で活躍するための能力を最大限に高めることを支援しています。また、在学中には特に留学を予定していない皆さんにも、グローバル人材として求められる語学力向上、異文化適応能力、海外の人たちとのコミュニケーション能力等の向上に活用できる学内の活動やプログラムの紹介等もワンストップサービスで提供しています。事前予約は不要ですが、予約がある場合は予約を優先とします。海外経験豊富なスタッフにお気軽にご相談ください。

相談場所・時間
<https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/coordinator.html>

今出川校地

良心館2階ラーニング・コモンズ(Global Village)
月・火・木・金曜日 9:00～17:00

京田辺校地

嗣業館1階国際課
水曜日 9:00～17:00



留学コーディネーターからのメッセージ

グローバル社会での活躍を目指す皆さんにとって大切なのは、指示されたことや与えられた課題をこなすだけでなく、自ら問いを立て、解決に向けて行動できる力です。こうした「グローバル人材」に求められる5つの能力——異文化理解力、柔軟な思考、課題解決力、コミュニケーション力、そして自ら学び続ける姿勢——は、海外での留学を通して実践的に身につけることができます。異なる文化や価値観の中で生活し、学び、挑戦する経験は、自分の視野を広げるだけでなく、日本社会や世界を多面的に捉える力を育てます。海外留学を通して、自分の可能性を広げたいと感じた方は、ぜひ気軽に相談してください。



FAQ よくある相談

- ☐留学してみたいけど、何から始めたらいいの？ 留学に向けてどんな準備をすればいいの？
- ☐大学の選び方は？ 利用できる奨学金はありますか？
- ☐卒業後の進路や大学院留学について悩んでいます…

■ Go Global Assistant <https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/assistant.html>



今出川キャンパスのGlobal Village(ラーニング・コモンズ内)では、Go Global Assistant(留学アシスタント)が、皆さんの疑問や相談にお答えします。留学アシスタントは、世界各国の協定大学からの交換留学生です。同年代の様々なバックグラウンドを持つ世界の優秀な学生たちと意見を交換し合う良い機会となりますので、語学力を気にすることなく、お気軽にお越しください。



■ アーモストフェロー

アーモスト大学は、アメリカを代表する名門リベラルアーツ・カレッジの一つです。また同志社の創立者・新島襄が学んだことでも知られており、帰国後の新島が京都で設立した同志社は、アーモスト大学がモデルとなっています。両大学の間には深い交流が今なお続いており、アーモスト大学から、毎年「Amherst Doshisha Fellow(通称:アーモストフェロー)」が客員研究員として来校し、両大学の交流促進に努めています。その交流の一環として、今出川キャンパスおよび京田辺キャンパスで、アーモストフェローと自由に交流できるオフィスアワーを週1回、各校地で実施しています。開催曜日やスケジュールなど、詳細については右記URLまたはQRコードにてご確認ください。アメリカの大学や留学に興味がある方や英語での会話を楽しみたい方等、アーモストフェローとの交流を希望する方は、ぜひご参加ください。

2025-2026年度 オフィスアワー
https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/amherst_fellow.html

今出川校地

良心館2階ラーニングコモンズ Global Village

京田辺校地

嗣業館1階国際交流ラウンジ



AMHERST FELLOW

～アーモストフェローと交流してみませんか～

同志社大学の外国協定大学のひとつであり、新島襄も学んだ全米有数のリベラルアーツカレッジであるアーモスト大学から、「Amherst Doshisha Fellow(通称:アーモストフェロー)」が本学に来校し、両大学の交流促進に努めています。



皆さんこんにちは、キャサリンです。
私は今年のアーモスト・同志社フェローです。
アーモスト大学で化学とアジア研究を専攻して、
2025年5月に卒業しました。
漫画やイラスト、日本のラウドロックバンドが大好きで、
電子機器を作るための化学にも強い興味があります。
英語のことやアメリカ留学について気になることがあれば、
気軽にオフィスアワーに来てくださいね！



留学お役立ち情報（“Go Global”ポートフォリオ:GGPなど）

Q 留学についての情報はどこで調べたらいいいの？

A 相談窓口(P.14参照)を利用する他、以下の冊子やシステムをご活用ください！

冊子／システム	特 長	配付・掲載場所
海外留学ロードマップ2026 (本冊子)	留学全般に関してまとめた冊子。派遣留学／サマー／スプリング／セメスター／EUキャンパスプログラムの他、大学外のプログラム(認定留学、休学留学など)についても扱うため、留学の全体像を把握するためにも便利。	新入生に配布 両校地 国際課 国際課 HP
募集要項	正式名称は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項。派遣留学(大学間)の出願や選考に関して、スケジュールや留意点等を記載。年度ごとに異なるため最新版を入手すること。	両校地 国際課 国際課 HP
	サマー／スプリング／セメスター／EUキャンパスプログラムの出願・選考に関する内容や、各プログラムの研修内容等の詳細を記載。年度ごとに異なる内容のため、最新版を入手すること。	募集説明会で配布 両校地 国際課 国際課 HP
プログラムリスト	派遣留学(大学間)の募集大学や出願要件等のリストを掲載。出願時期の直前に更新されるため、最新情報のチェックが必須。	国際課 HP GGP
協定校 info	大学間協定を締結している各大学の基本情報、履修情報、出願に関する情報を掲載。過去の派遣学生の報告書も参照可。	GGP
留学体験記・アンケート	サマー／スプリング／セメスター／EUキャンパスプログラムに参加した学生の留学体験記とアンケートを掲載。	GGP
同志社大学ポータル	留学関連の情報を国際課から定期的に発信。	専用アプリをダウンロード または Web シングルサインオンにログイン

Q GGP(“Go Global”ポートフォリオ)って何？

A GGPは同志社大学生限定の留学支援ウェブシステムです(大学から付与されたユーザIDとパスワードが必要)。留学に関する情報収集ができる他、派遣留学、サマー／スプリング／セメスター／ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラムの「WEB 出願」に利用します。これらのプログラムに関心のある方は、必ず以下を熟読のうえ、設定をしてください！

Step 1 GGPへログインしよう！

同志社大学 Web シングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から「Go Global”ポートフォリオ」を選択。ID とパスワードは入学時に受け取る「ユーザID 通知書」を参照。

<https://sso.doshisha.ac.jp>

The login form includes fields for 'ユーザID' (User ID) and 'パスワード' (Password), with a note 'ID / Pass 入力' (Input ID / Pass). Below the fields are checkboxes for 'ログインを記憶しません。' (Don't remember login) and '送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。' (Select whether to display the information to be sent again). A 'Login' button is at the bottom. To the right, a QR code is displayed. Below the QR code, there's a section for 'Go Global ポートフォリオ選択' (Select Go Global Portfolio) with various program icons like 'Go Globalポートフォリオ', 'Webdisk', 'Doshisha University Portal', '情報倫理・ネットワーク利用資格認定試験・コンプライアンス教育', 'DokoDeMo Print', 'イメージングマトリクス', and 'DUO Registration'.

Step 2

初期設定をしよう！

設定をしよう！

【プロフィールの設定】

①「設定」をクリック→②「プロフィール編集」をクリック

アイコンを設定したうえで、詳細プロフィールを入力し、「保存」をクリック(設定完了)

【リマインダ設定】※設定により大学からの通知がメールで届きますので必ず設定を！

①「設定」をクリック→③「リマインダ設定」をクリック

まず、一番上の項目の『リマインダ』を『受信する』を必ず選択すること

その他、以下の6つの項目を『受信する』として、

最後に「保存してテストメールを送信」をクリック(設定完了)

- お知らせ
- コースニュース
- レポート開催通知
- コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ
- レポート提出のお知らせ
- 自分のポートフォリオのコレクションについてのコメントのお知らせ



Step 3

マイページ(トップページ)から情報検索してみよう！

④ マイコース

参加予定(参加中)のプログラムに応じて、国際課でコースを設定します(●年度派遣留学、奨学金など)。コースにアクセスのうえ、各種申請や提出をすることができます。

⑤ プロフィール

語学スコア、留学・海外学習歴の登録ができます。留学前後に積極的に語学試験を受験し、ご自身の成長を記録していきましょう。

⑥ 留学関連情報

派遣留学プログラムからは、「プログラムリスト」「協定校 info」「WEB 出願」へのアクセスができます。

短期留学プログラムからは「留学体験記・アンケート」「WEB 出願」にアクセスができます。

⑦ マイコミュニティ

留学関連の情報取得や留学コーディネーターに相談ができるコミュニティがあります。

●「国際課からのお知らせ」(カテゴリ:お知らせ) ●「留学コーディネーターに聞いてみよう」(カテゴリ:その他)

参加方法:「コミュニティをさがす」→「このコミュニティに参加」



サマープログラム



https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html

プログラムの特徴

夏期休暇中の約3～4週間
団体(人数はプログラムによって異なる)での留学
大学付属の語学学校等で学ぶ
語学要件なし

こんな人におすすめ！

海外生活を体験してみたい方
部活動等で長期間の留学が難しい方
集中して語学を学びたい方
長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の夏期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレイスメントテスト結果等をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。

科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の春学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、3～4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施年度の秋学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- 再修生(5年次生以上)で留学実施年度の春学期卒業見込みの学生は出願不可。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムに、中国語コース生は中国語のプログラムに出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。
- 中国国籍の方は北京大学プログラムに出願できません。(留学VISA 招聘書が発行されないため。)

科目登録以外に必要な手続(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続は、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があり、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先 以下は2025年度実績です。2026年度のプログラム詳細は、国際課HPをご確認ください。

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少 催行人数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	4	2025年8月3日～9月 3日	約 93 万円	寮/ホームステイ	約 24 名	12 名
	ディーキン大学	オーストラリア	4	2025年8月9日～9月21日	約 84 万円	ホームステイ	約 20 名	10 名
	ゲルフ大学	カナダ	4	2025年8月3日～8月24日	約 98 万円	ホームステイ	約 25 名	15 名
	トンプソン・リバーズ大学(※)	カナダ	4	2025年8月2日～8月25日	約 96 万円	ホームステイ	約 25 名	11 名
サマープログラム・英語B	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	3	2025年8月7日～9月 7日	約 127 万円	ホームステイ	約 25 名	10 名
	コーク・カレッジ大学	アイルランド	3	2025年8月3日～8月31日	約 87 万円	ホームステイ	約 15 名	1 名
	オークランド大学	ニュージーランド	3	2025年8月9日～9月 7日	約 73 万円	ホームステイ	約 30 名	3 名
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(※)	アメリカ	3	2025年8月3日～9月 1日	約 143 万円	ホームステイ	約 20 名	10 名
	ケンブリッジ大学	イギリス	3	2025年8月9日～8月31日	約 130 万円	寮	約 34 名	30 名
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	3	2025年8月11日～8月29日	約 77 万円	ホームステイ	約 20 名	1 名
サマープログラム・フランス語	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学 (旧: フランシュ＝コンテ大学)	フランス	4	2025年8月1日～8月31日	約 73 万円	寮/ホームステイ	約 25 名	5 名
サマープログラム・中国語B	北京大学	中国	3	2025年8月3日～8月31日	約 57 万円	ホテル	約 20 名	6 名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学(※)	メキシコ	4	2025年8月2日～9月 1日	約 120 万円	ホームステイ	約 20 名	5 名
サマープログラム・ロシア語	サンクトペテルブルク経済大学(※)	ロシア	4		休 講			
サマープログラム・コリア語	延世大学	韓国	3	2025年8月3日～8月27日	約 45 万円	ホテル	約 20 名	7 名

※サマープログラム・英語A(トンプソン・リバーズ大学)は、最少催行人員に満たなかったため2025年度は休講。
※サマープログラム・英語B(カリフォルニア大学デービス校)、サマープログラム・英語B(カリフォルニア大学サンディエゴ校)は、共に最少催行人員に満たなかったため、第2希望までを含めより多くの学生が参加できるカリフォルニア大学デービス校のみプログラムを履行し、カリフォルニア大学サンディエゴ校は2025年度は休講。
※スペイン語(ラス・アメリカス大学)は、最少催行人員に満たなかったため2025年度は休講。
※ロシア語(サンクトペテルブルク経済大学)は隔年で実施しており、最終実施は2018年度です。

※費用: 学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

研修先紹介(一例)



カリフォルニア大学 デービス校



アメリカ

■都市: デービス

■特徴: 州都サクラメントから西に18kmの場所に位置し、大都市へのアクセスのよいデービス市。カリフォルニア大学デービス校はアメリカ最高水準の高等教育を提供するカリフォルニア大学システムのうちの1校であり、U.S.News 誌の大学ランキングでも毎年全米上位にランキングされる。大学が提供する英語教育プログラムでは、英語力の向上のみならず、アメリカ文化、環境・社会問題、SDGsなど様々な分野のトピックを通し、グローバル社会の一員として必要な知識を学ぶ。



コーク大学



アイルランド

■都市: コーク

■特徴: コーク大学は、1845年に創設された国立大学で、緑豊かなキャンパスと高い教育・研究水準を誇る、国を代表する大学の一つである。アイルランド第2の都市で、南部の歴史ある港町コークに位置している。アイルランドはEU加盟国の中で数少ない英語を公用語とする国で、フレンドリーな国民性でも知られる。大学付属ランゲージセンターは、30年以上の歴史を有し、少人数制で質の高い英語教育に定評があり、アイルランド独自の歴史・文化・社会に触れながら、英語によるコミュニケーション力および異文化理解力の向上を目指す。



オークランド大学



ニュージーランド

■都市: オークランド

■特徴: 近代的な街並みと豊かな自然が融合するオークランドに位置するオークランド大学は、1883年に創立されたニュージーランド最大規模の大学で、QS世界大学ランキング 2026では100位以内にランクインするなど国際的評価も高い。キャンパス内にある付属語学学校では経験豊富な教師陣のもと、語学力向上と文化理解のプログラムが用意されており、教員資格を持つスタッフの常駐するスタディセンターなど授業以外のサポートも充実している。



ケンブリッジ大学セントキャサリンズコレッジ



イギリス

■都市: ケンブリッジ

■特徴: ケンブリッジ大学は31のカレッジをもつ最高峰の名門大学で、ロンドンから北へ車で1時間半程度走った大都市ケンブリッジにある。本プログラムは、その内の1つ、セントキャサリンズコレッジで行われ、英語レッスンや週末旅行、歴史ある学生寮での生活、チューターと呼ばれる現地大学生との交流を通し、イギリス伝統のカレッジ制における大学生活にどっぷり浸ることができる。



マリー・エ・ルイ・パストゥール大学



フランス

■都市: ブザンソン

■特徴: スイス国境に近いフランシュ＝コンテ地方の首都ブザンソンにある大学。外国人のためのフランス語講座は長い歴史を持っている。その充実した内容には定評があり、日本政府外務省の外交官研修先として選ばれたこともある。会話を中心として、文法、作文、発音矯正など総合力を養成するフランス語集中講座。



北京大学



中国

■都市: 北京

■特徴: モダンな建築と伝統的な路地、数多くの文化遺産が同居する都市、北京にある世界的に非常に有名な大学。世界中から積極的に留学生を受け入れており、中国語教育では定評のある伝統校。授業や課外活動、また中国の人々や他国・他地域からの留学生との交流を通じて、中国語を向上させ、中国についての理解を深める。



コスタリカ・ラテン大学



コスタリカ

■都市: サンホセ

■特徴: コスタリカは、中米の中で政治的・経済的に最も安定しており、生活水準も高い。近年は半導体やバイオテクノロジー関連の産業が発展している一方、環境保全にも積極的に取り組んでおり、エコリズムが盛んな国である。コスタリカ・ラテン大学での語学研修によりスペイン語の力を伸ばすとともに、教室外での実地研修を通して、コスタリカの政治、経済、社会、文化などについても理解を深める。



スプリングプログラム

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html

プログラムの特徴

春期休暇中の約2～4週間
団体(人数はプログラムによって異なる)での留学
大学付属の語学学校等で学ぶ
語学要件なし

こんな人におすすめ！

海外生活を体験してみたい方
部活動等で長期間の留学が難しい方
集中して語学を学びたい方
長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の春期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の秋学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレイスメントテスト結果等をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。

科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の秋学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、1～4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施翌年度の春学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- 実施年度の3月に卒業予定の学生は出願不可。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムに、中国語コース生は中国語のプログラムに出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。
- 中国国籍の方は華東師範大学プログラムに出願できません。(留学VISA 招聘書が発行されないため。)

科目登録以外に必要な手続(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続は、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があります。学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先 以下は2025年度実績です。2026年度のプログラム詳細は、6月頃(予定)に発表します。

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
スプリングプログラム・英語A	ホーソン・メルボルン英語学校	オーストラリア	4	2026年2月13日～3月15日	約 68 万円	ホームステイ	約 25 名	20 名
	ヨーク大学	イギリス	4	2026年2月14日～3月18日	約 98 万円	ホームステイ	約 24 名	10 名
	オタゴ大学	ニュージーランド	4	2026年2月17日～3月22日	約 78 万円	ホームステイ	約 30 名	10 名
スプリングプログラム・英語B	オークランド大学	ニュージーランド	3	2026年2月 7日～3月 8日	約 72 万円	ホームステイ	約 30 名	12 名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	2	2026年2月16日～3月10日	約 106 万円	ホームステイ	約 19 名	10 名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	3	2026年3月 2日～3月29日	約 70 万円	寮	約 20 名	1 名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	3	2026年2月11日～3月16日	約 114 万円	寮/ホームステイ	約 20 名	5 名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学	中国	1	2026年3月 7日～3月21日	約 38 万円	寮	約 20 名	1 名
スプリングプログラム・スペイン語B	サラマンカ大学	スペイン	3	2026年2月19日～3月18日	約 58 万円	ホームステイ	約 20 名	10 名
スプリングプログラム・コリア語	慶熙大学	韓国	3	2026年3月 2日～3月24日	約 33 万円	寮	約 20 名	1 名

※費用：学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

研修先紹介(一例)



カリフォルニア大学 アーバイン校

■都市：アーバイン

■特徴：アーバインは、ロサンゼルスの南に位置し、全米で最も安全な都市の一つとして知られる。カリフォルニア大学アーバイン校の英語教育は、CEAというアメリカの英語教育プログラム認定協会にも認められた高い水準で行われている。クラスは習熟度別で、日本の他大学の学生および各国からの留学生と共に学ぶ。リスニング、スピーキングに重点をおき、アメリカ文化に関するディスカッション等を通して実践的な英語の運用能力向上を図る。



アメリカ



ホーソン・メルボルン英語学校

■都市：メルボルン

■特徴：オーストラリアで2番目に大きな都市、メルボルンの中心地区(メルボルンCBD)に所在する語学学校。メルボルン大学キャンパスにも隣接しており、オーストラリアでもトップレベルの水準を誇っている。大学進学を視野に入れてカリキュラムを組んでいるため、授業では環境やビジネスといったトピックを取り入れており、また4分野(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)をバランスよく伸ばすことができる。キャンパス内には図書館や映画館、スポーツジムなどがあり利便性がよく、留学生生活をさらに充実したものにしてくれるだろう。



オーストラリア



オタゴ大学

■都市：ダニーデン

■特徴：観光も文化も自然も満喫できる学生の街、南島に位置するダニーデン。オタゴ大学はニュージーランドで最初に創立され、ニュージーランドのトップ大学として知られている。世界100カ国以上から留学生が集まっており、留学生に温かい安全な都市である。学術都市としても有名な街で、レストランやカフェ、美術館やスポーツ施設も充実している。



ニュージーランド



ヨーク大学

■都市：ヨーク

■特徴：首都ロンドンから電車で2時間程の所にある歴史文化に溢れる街ヨーク。ヨーク大学は自然に囲まれた美しい大学として知られ、24時間開室の図書館やヘルスケアセンターの完備など、学生サポートが充実している。授業は同志社大学生のためにアレンジされた特別授業で、ヨークの文化や歴史などを主なテーマに、コミュニケーション能力の向上を図りながら英国の生活や文化に触れることで国際的な感覚を磨くことができる。



イギリス



フライブルク大学

■都市：フライブルク

■特徴：ドイツの南部に位置し、「環境先進都市」として有名な街、フライブルクにある大学。フライブルク大学語学研修センターが行うプログラムでは、世界各国から集まった学生と一緒に、ドイツ語のコミュニケーションを訓練しつつ、ドイツ語文化、そしてヨーロッパ文化を深く学ぶことができる。また留学生へのサポートも手厚く、フライブルク市内観光ツアーやハイキング、美術館案内などのアクティビティが充実しているのも魅力の一つである。



ドイツ



サラマンカ大学

■都市：サラマンカ

■特徴：サラマンカ大学は現存するスペイン最古の大学。サラマンカは他の都市が参考にするような、スペイン語語学留学先モデル都市であり、学生が多く国際色豊かである。また、旧市街地は世界遺産に認定されており、スペインの文化、習慣、環境から多岐にわたる学習ができる。コースは入門、中級、上級がある。



スペイン



慶熙大学

■都市：ソウル

■特徴：70年以上の歴史をもつ慶熙大学は、ソウル市の東大門区に位置する名門私立大学である。国際教育院韓国語教育部で実施される本プログラムは、世界各国からソウルに集まる学生と一緒に韓国を学ぶプログラムで、レベルに応じた少人数制の語学授業のみならず、K-POPやドラマ、習字や文化体験クラスなど韓国文化を満喫できる特色ある内容になっている。



韓国



セメスタープログラム

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/semester.html

プログラムの特徴

秋学期(約4ヵ月間)実施
団体(人数はプログラムによって異なる)での留学
大学付属の語学学校で学ぶ
語学要件あり

こんな人におすすめ!

集中して語学力を伸ばしたい方
長期留学に興味があり、語学を集中して学びたい方

プログラム概要

- 秋学期(約4ヵ月間)、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めることを目的としています。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレースメントテスト結果をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。
- **同志社大学へ学費の納入が必要です。**

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- **出願時に、TOEFL ITP® テスト450以上、TOEFL iBT® テスト45以上、TOEFL iBT® Home Edition テスト45以上、IELTS™ overall band score 4.5以上のいずれかが必要です。**
※TOEFL iBT® テストは「Test Date スコア」のみ可。「MyBest® スコア」は認めない。
※IELTS™ は One Skill Retake によるスコアは認めない。
- 「全学共通教養教育科目」に該当し、修得可能単位は、「セメスタープログラム・英語Ⅰ」「セメスタープログラム・英語Ⅱ」の計8単位です。
単位の取扱については、所属学部窓口へご確認ください。
- 秋学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川／京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語が英語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は出願不可。

科目登録以外に必要な手続(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、研修中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続は、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があり、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課 HP に掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先 以下は2026年度の実施予定内容です。(内容は変更になる可能性があります。)

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
セメスタープログラム・英語Ⅰ、Ⅱ	ディーキン大学	オーストラリア	8	2026年8月4日～12月 6日	約 225 万円	ホームステイ	約 30 名	10 名
	ゲルフ大学	カナダ	8	2026年9月6日～12月19日	約 195 万円	ホームステイ	約 30 名	10 名

※今年度はゲルフ大学(カナダ)が追加されました。

※費用：学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

※TOEFL® はエデュケーション・テストिंग・サービス(ETS)の登録商標です。

研修先紹介

ディーキン大学



オーストラリア

■都市：メルボルン

■特徴：ディーキン大学はヨーロッパ文化を持つ美しい街並みと近代的な建造物とが見事に融合し、非常に住みやすいビクトリア州メルボルンにキャンパスを構えている。大学では現地の学生だけでなく、世界各国の留学生が学んでいるため、様々な国籍の人と交流できる機会も多い。また授業のレベルは初級から上級まで細かく分かれ、学生それぞれの目的に応じた英語力が身につくよう工夫されており、カリキュラムに沿った課外授業を多く取り入れているのも魅力の一つである。



ゲルフ大学



カナダ

■都市：ゲルフ

■特徴：ゲルフ大学は教育・研究の両面で高く評価されるカナダの名門総合大学である。キャンパスがあるゲルフ市はカナダでも最も安全な街の一つとして評価されており、自然に囲まれた穏やかな学生の街である一方、トロントへも車で約40分と大都市へのアクセスも良好。付属語学学校は大学キャンパス内にあり、アカデミック英語に特化したプログラムを提供。大学の図書館やスポーツ施設、国内でも評判の高いカフェなども利用でき、学習とキャンパスライフを両立できるほか、様々なアクティビティやボランティア活動へも参加可能である。



EUキャンパスプログラム



https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram.html

プログラムの特徴

春学期または秋学期(約5ヵ月間)実施
団体での留学
EUキャンパスで学ぶ
現地に同志社大学のスタッフが駐在
語学要件あり
GPA 要件あり(秋学期プログラムのみ)

こんな人におすすめ!

集中してドイツ語を伸ばしたい方(春学期)
英語でEUについて学びたい方(秋学期)
チュービンゲン大学の授業を受講したい方
チュービンゲン大学の学生と交流したい方
長期留学に興味がある方

[春学期]

ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

ドイツ語とEUを学ぶ

プログラム概要

- ドイツのチュービンゲン大学にある本学の海外キャンパスであるEUキャンパスで春学期(約5ヵ月間)に実施するプログラムです。ドイツ語の研修プログラムである「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」に加えて、チュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目である「Intercultural Studies」、ドイツ、ヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とした「EUキャンパス特別講義」でプログラムを構成しています。
- 渡航前の秋学期に研修先の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレイスメントテスト結果等をもとに、能力に適したレベルのコースにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- 同志社大学へ学費の納入が必要です。
- チュービンゲン大学の学費は免除されます。

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- 出願にあたり、外部語学能力試験の証明書の提出は不要ですが、ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ、応用1、2、3、4、インテンシヴⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのいずれかが履修済(登録中も可)であること。
なお、本学の初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既修者の場合も出願は可能です。プログラム開始後、チュービンゲン大学で実施されるドイツ語の集中講義でCEFRのA2レベル以上に達する必要があります。
- 「全学共通教養教育科目」として設置している「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ(計8単位)」「Intercultural Studies(2単位)」「EUキャンパス特別講義①、②(計4単位)」の4科目で構成されます。単位の取扱いについては、所属学部窓口にご確認ください。
- 春学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川／京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修の評価等を総合して評価されます。

プログラム内容

以下は、2026年度の実施予定内容です。(内容は変更になる可能性があります。)

科目名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	8	2026年3月1日～8月7日	約109万円	寮	約15名	10名
Intercultural Studies	2					
EUキャンパス特別講義①、②	4					

費用：住居費・往復航空券・保険料等を含む

履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。

科目登録以外に必要な手続(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています。チュービンゲン大学への入学手続・科目登録、ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続は、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、国際課・教務センター等にも設置予定です。
- 参加者は事前授業への出席および出発前に行われる危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への出席が求められます。

[秋学期]

ヨーロッパン・スタディーズEUキャンパスプログラム

英語でEUを学ぶ

プログラム概要

- EUキャンパスで秋学期(約5ヵ月間)に実施するプログラムです。チュービンゲン大学が提供するTübingen International and European Studies(T-IES)科目と本学が提供する科目で構成されており、プログラムを通じてドイツ、ヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。授業はすべて英語で実施されます。
- プログラム開始前、約5ヵ月間にわたり、留学前準備講座の受講、英語試験の受験が求められます。これにより、十分な英語力を得てから留学プログラムに臨むことができます。
- 同志社大学への学費の納入が必要です。
- チュービンゲン大学の学費は免除されます。

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- 出願時の最低条件として、GPA2.0以上(大学院生はGPA2.5以上)、英語要件においてはTOEFL iBT® 42～、IELTS™ 4.0～、実用英語技能検定2級(CSE1950～)が必要です。(2026年1月21日以降に受験したTOEFL iBT® については基準が見直されます。)
- 下記を総合的に評価の上、候補者を決定します。
 - ・累積GPA(学業成績)
 - ・英語能力
 - ・EUキャンパス支援室による面接※上記面接以外に、T-IESによるオンライン面接(英語)が実施されます。
- 候補者決定後、留学開始までに英語力向上を目的として実施される留学前準備プログラムへの参加(講座受講、IELTS™ 受験が必須です。詳細は、下記プログラム内容参照)。
- チュービンゲン大学が提供するT-IES科目(6科目)は履修が必須であり、最大12単位について留学後に認定を申請することができます。
- 同志社大学提供科目(3科目)は登録が必須です。科目登録は、大学が一括して行います。単位の取扱い等の詳細は、所属学部窓口にご確認ください。

プログラム内容

以下は、2026年度の実施予定内容です(内容は変更になる可能性があります)。

科目名	単位数	留学準備プログラム	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
チュービンゲン大学提供T-IES科目	12	2026年4月～7月 IELTS™ 対策講座受講 英語オンライン授業 (チュービンゲン大学提供)受講	2026年9月1日～ 2027年1月16日	約70万円 ※往復渡航費を 含まない	寮	約16名	10名
同志社大学提供科目	6	7月 IELTS™ 受験 アカデミック・イングリッシュ講座					

費用：住居費・ドイツの医療保険料・留学前準備講座費用等を含む

科目登録以外に必要な手続(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- チュービンゲン大学への入学手続・科目登録、ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続は、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 航空券の手配、本学指定の海外旅行保険への加入手続は、大学からの案内後、各自の責任で行う必要があります(留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています)。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、出願受付前の募集説明会にて配布予定です。また、参加者は留学前準備講座の受講および出発前危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への出席が求められます。

研修先紹介



チュービンゲン大学



ドイツ

■都市：チュービンゲン

■特徴：本学は2017年度にドイツのチュービンゲン大学にEUキャンパスを開設し、2019年度から初の教学プログラムとして、EUキャンパスプログラムをスタートした。チュービンゲン大学は1477年に設立され、同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していた。町の各所に大学の施設が点在し、大学と町が共存した学問の地として世界的に知られている。

その他プログラム紹介

- その他、チュービンゲン大学を研修先とする科目として、**海外フィールドワーク科目**を設置しています。詳細は以下URLを参照してください。(2026年度は休講)
<https://www.doshisha.ac.jp/international/fieldwork/index.html>



※TOEFL® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

派遣留学(大学間協定)プログラム



https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/exchange_program/exchange_program.html

プログラムの特徴

学生交換協定に基づいた留学
外国語で専門科目を学ぶ
渡航先は協定校の中から選択
期間は1セメスターまたは1年間
GPA・語学要件あり

こんな人におすすめ！

海外大学の授業を受講したい方
現地の学生と一緒に授業を受けたい方
同志社で学んでいる専攻を外国語で学びたい方
1セメスターより長い留学をしたい方
GPA・語学要件を満たしている方

プログラム概要

- 本学は、37カ国(地域)174大学(2026年3月現在)と学生交換協定を締結しています。
本プログラムは、外国協定大学派遣留学生制度のもと、これらの協定校に1セメスター／1年間留学するプログラムです。留学先大学では、原則として現地の学生と同様に学部レベル(大学院生は大学院レベル)の専門分野を勉強するため、出願時点で一定レベルの語学力が求められます。
- 派遣留学生は留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な修業年限に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。

実施期間	1セメスターまたは1年間		
募集日程／対象大学	P.8～P.9(対象大学)、P.12～P.13(スケジュール)参照 選考スケジュールの詳細は、国際課 HPに掲載の募集要項をご確認ください。		
	A 日程	留学期間が翌年2～3月に開始する大学(オセアニア・南米・韓国等)	
	B 日程	留学期間が翌年8～10月に開始する大学(北中米・ヨーロッパ・アジア等)	
協定校	協定校 info 参照 “Go Global” ポートフォリオ ＞ 派遣留学プログラム ＞ 協定校 info		
募集大学／出願要件	プログラムリスト参照 “Go Global” ポートフォリオ ＞ 派遣留学プログラム ＞ プログラムリスト		
費用	[1年間の場合] 約100～400万円(住居費・生活費・往復渡航費等、学費以外の費用) ・アジア：約100万円～ ・ヨーロッパ：約150万円～ ・オセアニア：約200万円～ ・北米：約250万円～ ※上記費用は目安です。留学時にかかる実際の費用とは異なる場合がありますのでご注意ください。 ● 同志社大学への学費の納入が必要です。 ● 留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。		

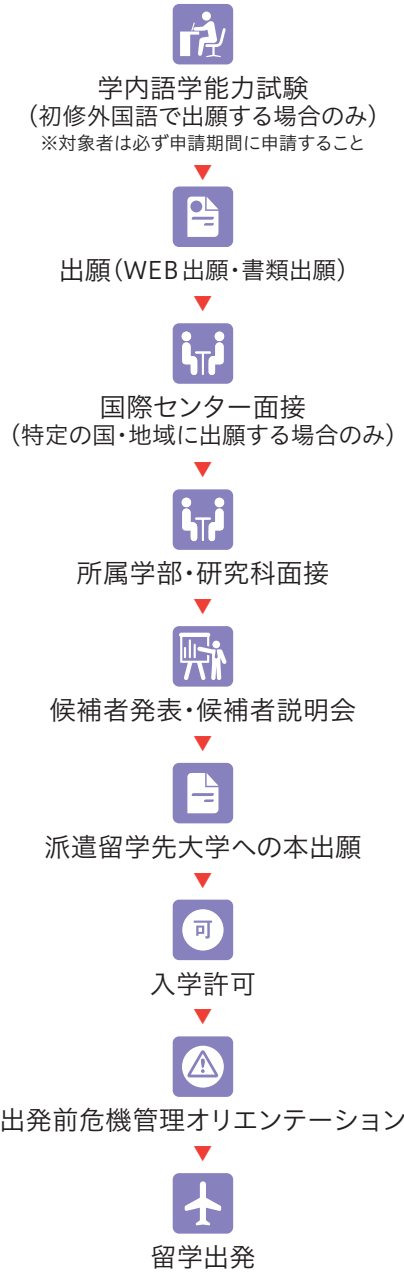
出願要件・履修計画

- 留学先大学ごとに、**GPA(同志社大学での累積の学業成績)**、**語学能力**をはじめ、**出願の条件が定められています。**
学内出願の最低条件として、少なくとも **GPA2.0以上**、英語での出願の場合、**TOEFL ITP® 500点以上**、**TOEFL iBT® 4以上(新スコア)／60以上(旧スコア)**、**IELTS™ 5.5以上のいずれか**、英語以外の言語で出願する場合、**CEFR A2以上**が必要です。
- 留学先大学によっては、学年・取得済単位数等の条件が設けられている場合もあります。詳細は、プログラムリストを参照してください。各大学の**出願資格・要件は、学内出願の時点で満たしていることが必要です。**プログラムリストの公開は募集時期の直前となるため過去の情報を参考に準備を進めてください。なお、出願前に必ず最新のプログラムリストを確認してください。
- 候補者に選出されても、出願資格・要件が満たされなくなった場合、留学先大学より入学許可が得られなくなる可能性があります。
- 下記を総合的に評価の上、最終的に学長が派遣留学候補者を決定します。
 - ・ **累積 GPA(学業成績)** ・ **語学能力** ・ **所属学部・研究科による面接**
- 留学中の目標、志望理由、留学前・留学後の履修計画、進路(就職活動)等は、出願前に十分ご検討ください。派遣留学生が履修可能な科目、履修の制限等の情報は、協定校 info をご参照ください。

※TOEFL® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

GPA	語学	面接
[学部生] 2.00 ／ 4.00 [大学院生] 2.50 ／ 4.50	[英語] TOEFL ITP® 500 または TOEFL iBT® 60(新スコア) IELTS™ 5.5 [英語以外] CEFR A2	60 ／ 100

派遣留学スケジュール



出願を考えている方へ

- ・国際課窓口で配布される「同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項」を必ずご確認ください(国際課HPにも掲載)。
- ・募集開始前に行われる募集説明会に参加し、情報収集に励んでください。
- ・候補者に選出された場合、「候補者説明会」や「出発前危機管理オリエンテーション」(いずれも対面実施)等、本学が指定する説明会やオリエンテーション等へ必ず参加してください(欠席は不可)。
- ・候補者に選出されても、学業不振等により留学が取り消される場合や、留学先大学から入学許可が得られない場合は、留学できません。

その他注意事項

出願について

- ・派遣留学出願にあたっては、**WEB出願と書類出願の両方が出願期間内**に必要です。
- ・学内語学能力試験／国際センター面接は対象者のみ受験が必要です。
英語以外の言語での出願の場合、出願前に学内語学能力試験の受験が必要な語学があります。
詳細は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項をご確認ください。
- ・所属学部・研究科面接は出願者全員が対象です(所属学部・研究科から対象者に面接案内がきます)。
- ・候補者発表は“Go Global” ポートフォリオにて通知します。
- ・**学内出願後に留学期間の延長・短縮・キャンセルはできません。**

本出願について

- ・学内選考の結果発表の段階では、あくまで「派遣留学候補者」です。候補者発表後、留学先大学への正式な出願(「本出願」)を経て、留学先大学より「入学許可」を得ることで、派遣留学生として認められます。

出発までの必要手続(渡航・査証申請、保険の加入等)

- ・航空券の手配、ビザの取得、海外旅行保険への加入、寮の申請等、入学許可後の手続は、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- ・留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が原則義務付けられています。

【最低限カバーすべき補償内容】 治療・救済費用:無制限、個人賠償責任:1億円

派遣留学生の義務・責任

- ・本プログラム(制度)で留学する派遣留学生は、本学の代表として留学するため、様々な恩恵が得られる一方、義務や責任も生じます。海外旅行保険への加入をはじめ、定期的に発信される安否確認通知への応答、留学報告書(後輩学生への貴重な情報提供)の作成、帰国後の語学スコア(学外の語学能力試験のスコア)の提出は必須です。また、各種留学説明会への協力等、本学の派遣留学・国際交流の活性化への積極的な協力が求められます。

帰国前・帰国後の科目登録・単位認定

- ・**派遣留学はプログラムへの参加だけでは単位になりません。**留学先大学で修得した単位は、所属学部・研究科へ単位認定を申請する必要がある、留学中の修得単位がすべて認定されるとは限りません。帰国後の単位認定を見据えて、留学前に留学先大学のカリキュラムを調べ、履修予定科目を決定の上、所属学部・研究科窓口にご相談することが推奨されます。

継続履修

- ・本学では、一部の科目で春学期・秋学期の通年科目や、学期をまたぐ集中科目が設置されています。8月～10月に新学期が始まる大学に留学する場合、継続履修制度の適用を受けることで、留学前に春学期分を履修し、帰国後に秋学期分を履修することが認められる場合があります。継続履修の取扱いについては、所属学部・研究科窓口にご確認ください。

留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ > 短期留学プログラム > 留学体験記・アンケート

P.16
参照

サマープログラム・英語 B

イギリス



ケンブリッジ大学セントキャサリンズコレッジ

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

慣れない環境だったので、体調を崩す人がいたり、予想外のことが起きたりしました。私はリーダーだったので、まだメンバーの顔と名前を覚えきれていない時から30人以上のメンバーをまとめなくてはならず、苦労しました。次第にみんなが打ち解けていってからは、まだまだ話していないメンバーとも積極的に関わって、メンバー間の一体感が生まれるよう努力した点は、成長につながったと思います。メンバーの安全に気を配ったり、TAさんと必要な連絡を取ったりと全体を見渡す視野の広さが大事だと実感しました。リーダー業務のおかげでみんなとの仲も深まりました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

最初の頃は、ちゃんと伝わる英語が話せているかということを意識しすぎて話し方も硬かった気がします。しかし、英語の流暢さはあまり重要ではなく、ネイティブスピーカーと話す時間が多ければ多いほど自信がついてくることに気が付きました。それからは、自分がまず英語を積極的に話して、仲間が会話の輪に入りやすくなるように心がけました。この意識がますます自信につながり、次第に「会話を楽しむ」というフェーズに移行できました。臆さずにTAや先生に話しかけに行く仲間はどんどんスピーキング力が上達していて、他の仲間にも良い影響があったと思います。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

現地の先生方などから、自分の専攻について聞かれたり大学のその先はどうしたい?と問われることがよくあったので、改めて深く考えるきっかけになりました。5人の現地学生アシスタントや参加メンバーの先輩方とも関わりができたことで、様々な人の人生の描き方、キャリアパスがあっていいんだと視野が広がりました。また、この留学を通して「ひとつ自分の中に強みとなる分野を持つと学びに深みが生まれる」ということを節々で感じました。渡航前悩んでいた大学院進学という選択に、今は自信を持つことができています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

ケンブリッジは本当に素晴らしい都市です。治安も良いので、落ち着いた学習と非日常の楽しさ、異文化体験のバランスが最高です。週末はロンドンにも行けるので、華やかで楽しい時間も過ごせます。初めての海外であれば不安に感じる人もいるかもしれませんが、一人きりで行くわけではないので心強いです。伝統と歴史が積み重なったこのケンブリッジ大学ではイギリスならではの経験がたくさん得られます。学ぶ意欲がある人に対しとてもウェルカムで、私も素晴らしい先生方に会えました。同志社から来た他の仲間との縁もずっと残るので、ワクワクする気持ちを感じたら迷わず飛び込んでみてください!

サマープログラム・コリア語

韓国



延世大学

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に1番苦労した部分は言語と文化の壁です。特に、慣れるまでの間は語学堂の授業がすべて韓国語で行われるところが大変でした。ですが語学堂の先生方は優しいばかりで、難しい部分はすぐにわかりやすく表現してくださりました。また3週間共に学んだクラスメイトも同じレベルの語学力のため、難しい部分でもテスト勉強においても一緒に学びを深めることができ、それぞれ違う国で生きていても韓国語という一つの言語を通して言葉を交わしていることに少しの驚きと嬉しさを感じました。これらの語学堂での学びによって、言語の壁に苦しむこともなくなったと思います。文化の違いについては、特に日常生活を送る中で多く感じました。交通面での違いや食文化の違いなど様々な部分で違いはありましたが、その時々に合わせて韓国という国の文化を学ぶという気持ちで、変に構えずに普段通り過ごすようにしていました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は今回のこの留学を通して、自分自身の人間性と語学力どちらも成長させることができたと思います。語学力の成長につながったのは語学堂に通ったことだけでなく、現地で実際に生活を送った部分が大きいと感じます。語学堂で新しい文法や知識を身に付け、日常生活で対話を重ねることで文法や語法どちらも実践を通して学ぶことができたため、これらが語学力の向上につながったと考えます。また、慣れない環境の中、初対面の相手とルームメイトになることや3週間毎日様々な国の生徒と学びを共にすることで、自分自身の価値観や思考力を広げることができたと考えます。日本での過ごし慣れた環境、生活とは違うからこそ学びも多く、語学力はもちろん人としても一つ成長できたと思います。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

私はこのサマープログラムを通して、将来韓国にまつわる職業につきたいと考えるようになりました。応募時にはつきたい職業など何もない状態だったのですが、このサマープログラムを通して自分が好きな国、興味のある分野である韓国にまつわる仕事に関心を持つようになりました。職業や職種に関係なく今後就職などを考える上でも、今回の留学は大きな強みになると考えています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私はこのサマープログラムコリア語を通して様々な学びを得て、貴重な経験をする事ができたと感じます。サマープログラムでは毎日語学堂に通い、違う国の生徒たちと会話を交わしながら一緒に学びを深め、日常生活においても住み慣れた日本とは違う環境で3週間生活します。この3週間は日本での生活とは比べものにならないほど毎日が驚きと発見の連続で、サマープログラムでなければ経験できないことが数多くありました。これらは私にとって一生忘れられない思い出であるとともに、今後の人生においても自分自身の中で貴重な経験になると実感しています。向こうでの生活など不安な部分もあると思いますが、参加者全員で仲を深め合いながら楽しく生活することができ、大学内の参加者とは別に語学堂でもたくさんの新しい出会いがあります。私はサマープログラムに参加して本当に良かったと感じているので、検討されている方にもぜひ参加してほしいと思います。



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ > 短期留学プログラム > 留学体験記・アンケート

P.16
参照

スプリングプログラム・英語 C

アメリカ



カリフォルニア大学アーバイン校

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

今回の留学で私は、現地の学生と友達になることを目標にしていました。現地の人と友達になる過程で最も難しかったのは、いかに楽しい会話ができるかでした。アメリカ人はフレンドリーで、遊びに誘うことは簡単でした。また、これまでの英語の勉強が活きたのか、お互いの自己紹介などの会話も難しくありませんでした。しかし、楽しく雑談することには苦労しました。まず何を話せばいいのかもわからず、少ないボキャブラリーで話せる内容も限られていました。そのような状況を打破するために、映画やドラマでの英語学習を始めました。実際の会話から学ぶことで、雑談に使えるトピックだけでなく、使いやすいフレーズを学ぶことができました。また、会話中たくさん質問をすることも意識しました。日本ではあまり見ないものについて質問すると、相手の返答から言語の勉強だけでなく文化を知ることもできました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学を通して、自身の社交性が大きく向上したことを実感しました。できるだけたくさん英語を話したいという気持ちと、アメリカ特有のフレンドリーで誰とでも話せる雰囲気が影響し、3週間でたくさんの人と関わる事ができました。語学力に関しては、やはり3週間だけで流ちょうに話せるようにはなりませんが、自然に外国人と英語で話せるようになったことは大きな成長だったと感じます。外国人観光客が多い場所でアルバイトをしているのですが、留学前に比べて自然と外国人と話せるようになったと実感しています。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

3週間という短期間の滞在でしたが、異国の地で問題なく生活できたという経験は、今後のキャリア形成に大きく役立つと思います。卒業後はグローバルに活躍できる企業への就職を望んでおり、将来的には海外駐在などもしたいと考えています。そのような中で、学生のうちに海外で生活する経験ができたことは有意義だったと思います。留学を経験したことで、将来の選択肢が大きく広がったと感じています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

休学せずに長期休暇だけで留学できる本プログラムは、留学に興味はあるが初めての一步を踏み出せない学生に向いていると思います。私含め同じプログラムに参加した学生の多くが初めての留学でした。大学在学中に海外留学を経験したいという思いで本プログラムへの参加を決意しました。渡航前はホームステイや英語での授業に不安を抱えていましたが、現地の大学の手厚いサポートや現地の学生との交流で楽しく滞在できました。帰国する頃には、さらに海外に行きたいと思うようになりましたし、すでに長期の留学を希望している学生もいるほどでした。

スプリングプログラム・フランス語

フランス



CAVILAM

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私は今回のスプリングプログラム前に留学経験が無く、英語を話すことが得意でもありませんでした。語学学校でほぼ一日約5時間の授業中、使う言語は自分になじみのない英語とフランス語。母語と異なる言語を学びながら使うことは楽しかったですが、とても疲れがちなっていました。疲れがちなながらも留学に来ている以上勉強を頑張りたいと思っていた私は、私なりのリフレッシュ方法を使っていました。それは一緒に留学している仲間との時間を毎日作ることです。この時間は、一緒にフランス語を勉強することもあれば、お互いの留学の目的を深く話しあうこと、またたわいもない会話をしていました。この時間でリラックスできていたから毎日頑張ることができたと思っています。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

馴染みのない言語を使いながらクラスの人たちとコミュニケーションをとらなければいけないことは最初は怖くて黙りがちでした。1、2週間たって他の国の人たちが、授業中フランス語を学ぶために一生懸命に発言をしてグループディスカッションをしている姿を見たことで、自分が積極的に動くことの大切さを学びました。そのことに気づいてからは、授業中に発言することを恥ずかしがらずにしていきました。そのおかげで残りの2週間はさらに楽しい授業を受けることができました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

今回の留学で私は素敵な考えをたくさん持っている仲間たちと出会い、フランスという国で様々な人々と交流をするという何にも代えがたい経験をしてきました。私はまだ大学院に進学するのか、就職をするかはわかりませんが、どちらにせよ1回生の春休みに自分の強み、弱み、変えていくべきところを見つけられたことは、あと3年間大学生活を送りながら自分を成長させる糧としてしっかり使いたいと考えています。また1つ前の項目にも記入した積極的に動くことの大切さは、社会人になっても実践すること、大切にすべきことの1つだと思っています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

語学勉強の面では自分にあったレベルのクラスに振り分けてもらえ、丁寧にフランス語を教えてくださいださる先生方のおかげで語学力の向上はもちろん、新しい言語を学ぶ楽しさも勉強できました。また留学前の事前授業の時はみんなとも交流を深めきれず、気づいたら開空出発で不安でしたが、いざフランスへ行って留学生しかいない状況になって、初めて皆と交流して、お互いのことを知れて、留学が終わる頃には家族みたいに仲良くなれてとても楽しい留学でした。



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 〉 短期留学プログラム 〉 留学体験記・アンケート

P.16
参照

セメスタープログラム・英語 I・II

オーストラリア



ディーキン大学

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

ネイティブとの会話では、ECC で英会話経験はあったものの、スラングやイディオムの多さ、話すスピードの速さ、場慣れしていないことから当初は思うように話せず苦戦した。そこで、日本から持参した「簡単な動詞と助動詞の組み合わせで表現を広げる」本や学習系 YouTuber を活用し、日常会話で使える表現をインプットし、それを実際の会話で積極的に使うというインプットとアウトプットのサイクルを意識して学習した。その結果、徐々に自信を持って会話できるようになった。また、現地留学生との会話では、様々な国の学生が集まっており、多様で強いアクセントに最初は戸惑った。聞き取れず会話が止まることもあったが、聞き返したり言い換えをお願いしたりしながら諦めずに交流を続けたことで、次第に耳が慣れ、円滑に意思疎通ができるようになり、今ではとても仲の良い友達になった。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で、リスニング力、スピーキング力、挑戦する姿勢、そして価値観の面で大きな成長を実感した。リスニングでは、音源とは異なり人それぞれアクセントや話す速度が違うため当初は聞き取りに苦労したが、英語音声・英語字幕で海外ドラマや映画を視聴することで、インプットした語彙やセンテンスの使い方を視覚的に理解し、楽しみながら記憶に定着させた。結果、今では海外ニュースの大まかな流れを把握でき、ネイティブ同士の会話も約8割理解できるようになった。スピーキングでは、英語に囲まれた環境を活かし、日本語からできるだけ離れ、授業中と休み時間は英語で話し、多国籍の学生とも積極的に交流したことで、冗談を交えながら自然に会話を楽しめるようになった。また、失敗を恐れず英語を使い続けたことで自信が付き、Why を求められる文化の中で自分の考えや価値観と向き合って思考が深まり人として成長するとともに将来の夢が見つけた。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

この留学を通して格段に向上した実践的な英語力を活かし、就職活動で重要となる TOEIC や IELTS の高得点取得を目標に、現在学習に取り組んでいる。留学中は実際のコミュニケーションを通して英語を使う力を身につけたため、今後はそれを客観的なスコアとして証明したいと考えている。また、これまでの設問で述べた通り、留学経験を通じて自分の本当にやりたいことを見つけることができた点が、最大の収穫である。この経験で培った語学力、挑戦する姿勢、そして明確になった将来像を軸に、主体的に行動できる人材として就職活動に臨んでいきたい。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムを通して、私は実践的な英語力が伸びただけでなく、人として大きく成長できたと心から感じている。特に、人生や恋愛について相談できるほどホストマザーと深い関係を築けたことは、私にとってかけがえのない経験だった。長い人生の中で様々なことを乗り越えてきたマザーの言葉は、迷ったときの指針となり、私の価値観をやさしく、しかし確実に広げてくれた。帰国した今も連絡を取り合っている。また、ホストファミリーや、仲良くなったマザーの友達、学校でできた友達のおかげで私の居場所が日本だけでなく、オーストラリアにも増えた気がして物理的にも心理的にも私の世界が広がった。お金はたくさんかかるし異国に知らない人と住むのはなかなか勇気がいることだが、その金額の何倍もの収穫があり、またこの経験はあなたの価値観や人生さえも変えてくれるものだと思う。



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 〉 短期留学プログラム 〉 留学体験記・アンケート

P.16
参照

ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム

ドイツ



テュービンゲン大学

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に最も苦労した点は、タンデムパートナーとの会話でした。英語に頼ってしまい、ドイツ語学習の意欲が下がることもありましたが、同じ悩みを抱えるプログラム参加者に相談しました。その結果、完璧なドイツ語でなくてもジェスチャーを交えながら積極的に話すことを意識するようになり、会話そのものを楽しめるようになったことで、スピーキング能力も向上しました。また、日本食が恋しくなることもありましたが、「ドイツ料理しか食べない」と割り切るのではなく、むしろフロアメイトと日本食パーティを開くなど工夫しました。こうした取り組みによって、困難を前向きに乗り越えることができました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で自分が成長したと感じる点は、行動力と自己への意識の持ち方です。日本にいた頃は、何かを始める前に「こうして、次はこうして」と計画を立てすぎるあまり、行動に移す前に「やっぱり無理かもしれない」と諦めてしまうことが少なくありませんでした。しかしドイツでは、とにかくまずはやってみることを意識し、計画より実行を優先するようになりました。その結果、行動力が高まり、挑戦に対して前向きな姿勢を持てるようになりました。また、日本では周囲の目を気にしすぎて自分の思いを抑えてしまうことが多かったのですが、ドイツの学生たちが周囲を気にせず自分の好きなことに打ち込んでいる姿を見て、自分自身にもっと焦点を当てて行動できるようになりました。その意味で、良い意味で「自己中心的」な姿勢を持てるようになったことも大きな成長だと感じています。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今後、今回の留学で得た経験を活かしたい点は、将来の選択肢の広がりや主体的な姿勢です。留学前は「卒業したらすぐに就職活動」という固定的な流れにとらわれていましたが、ドイツの学生たちが年齢や背景にかかわらず自由に学び直しや活動をしている姿を見て、自分の進路にも多様な可能性があると感じました。また、学生団体を訪問する中で、若い世代でも社会に働かせる大きな力を持てることに気づきました。だからこそ日本に帰ってからは、ただ日常に流されるのではなく、留学で培った「飛び込む力」と「自分を中心に据える姿勢」を大切にしながら挑戦を続けたいと考えています。そして同時に、留学生活の中で改めて見てきた日本の良さや魅力を、自分なりの言葉で積極的に発信し、社会に還元していきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

今回の留学に大きな後悔はありませんが、出発前にドイツ語力やドイツへの理解をもう少し深めておけば、より充実した留学生活を送れたのではないかと感じています。特に最初の1ヵ月は自分のドイツ語に自信が持てず、会話に消極的になってしまい、振り返れば少しもったいない時間を過ごしました。少なくとも出発前の段階で、自分のことを簡単に説明できる程度の表現力を身につけておく、現地での生活に余裕が生まれると思います。また、留学の目的や行動の仕方は人それぞれですが、ドイツで出会う日本人学生は皆、何らかの強い思いや目標を持っています。そうした仲間との関わりを避けずに積極的に交流することで、自分の人生にも新たな刺激や学びが得られるはずです。

ヨーロピアン・スタディーズ EU キャンパスプログラム

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私の留学の目的は、日本では経験できない、多様な人との関わりを持つことでした。しかし、実際に行ってみると、クラスメイトの9割が日本人で、その目的を達成することが難しい状況でした。そこで、授業の教室以外の場所に自分から飛び込まずにはならないと考えました。そんなとき、地域の集会在定期的に開催されていることを耳にし、その週末に1人で行ってみました。受付の方に声をかけ、初めて来たことと現地の方と交流する機会を求めて来たことを伝え、毎週、幅広い年代の現地人と留学生が集う国際交流イベントを開催していると教えてもらえました。そこに参加するようになったことで、授業のクラス以外でコミュニティに属することができました。互いに自文化を語ったり、一緒に料理をしたりして、多様な人々と関わるという留学の目的を達成することができました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

意見をはっきりと言う力が身につきました。寮で現地学生と共同生活を始めたばかりの頃、共有スペースの使い方についてルームメイトたちが不満を言い合っていたことがあり、怖いと感じました。しかしその後、ドイツには日本のような以心伝心の文化がなく、代わりに自分の思ったことを言葉で伝えることが相手への思いやりにもなるという価値観が浸透していると聞き、納得しました。相手を困らせないためにも、自分の考えをはっきりと表明することを学びました。私自身、これを意識的に実践しつづけていった結果、自分の意見を口にすることに對するためらいが少しずつなくなっていきました。このように、留学を通して、意見を自分の言葉で伝える力が身につきました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

自分が気がついたことをはっきりと伝える力を今後の人生で活かしたいです。帰国後は、アルバイト先で困ったことがあったとき、すぐに周囲に相談できるようになりました。さらに「こうした方がいいのではないか」という提案もできるようになりました。すると周囲から頼られる存在になることができました。留学で養った、気がついたことをはっきり伝える力を、よりよいチームづくりにつなげることができていると感じています。これを将来の就職先でも活かしていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

この留学で成長するためには必要なことがあります。それは、自分なりの目的、ゴールを持って現地に行くことです。正直に言うこのプログラムには欠点があります。それは、自分から動かないかぎり、特に大きな挑戦はせずに過ごしてしまうことです。用意されたプログラムでは常に同志社生とともに行動することになりますし、同志社大学の職員さんのサポートもすぐそばにあります。だからこそ、成長するためには、自分自身で積極的に行動することが必要です。そしてそのときには、自分自身がどうりたいかというゴールが定まっていることが大きな助けになります。それがあれば、このプログラムの利点である、サポートが常にそばにあることを活用しながら、安心して全力で挑戦できます!!初めての場所は不安、1人では不安、でも、挑戦したい! 変わりたい! という方にぜひおすすめしたいプログラムです!



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 〉 派遣留学プログラム 〉 協定校 info

P.16
参照

派遣留学プログラム・英語

アメリカ



モンタナ大学

留学体験記

私は高校生時のカナダ修学旅行がコロナウィルスの影響で中止になった経験もあり、「大学生になったら絶対に留学をする」という強い気持ちを持って同志社大学に入学しました。しかしそんな熱意とは裏腹に、現実はその甘くなく、英語の試験を受けてみたものの、目標の点数には惜しくも届かず、行きたかった国を変えて留学に踏み切ることとなり、私の留学は「失敗」からスタートしました。

日本を離れてから現地到着後しばらくは、悔しさと困惑、緊張感など様々な気持ちだったのを今でも覚えています。しかし、「ここまで時間とお金をかけてきたのに、このままではただ勉強をするだけで終わってしまう」と感じ始め、手当たり次第にクラブ・寮イベント企画の会入、外部でのボランティア活動などを行いました。その中でも自分の成長を大きく促したのは詩吟イベント自主企画・運営でした。発端は自分が今まで13年間習ってきた詩吟という素晴らしい日本文化を伝えたいという純粋な情熱からでした。日本人に対しても伝えるのが難しいものをどのように説明するかということが課題でしたが、「自分が参加者だったら何に対して気になるか」を常に意識し、資料作成・企画に挑んだことで約30名の集客と好評を得ることができました。イベントの中で実際に観客の前で“江南の春”を披露しましたが、今振り返るとものすごい度胸があったな、と感じます。イベント後は達成感に加えて自分がここまでできたということの驚きや、人の心を動かすことができたことの喜びなどをひしひしと感じることができ、自分に自信ができました。

失敗から始まった私の留学生活でしたが、結果的には「大成功」に終わることができました。もちろん、想像を絶するような辛いことや悲しいこともあり、何度も留学を本気で諦めようとしていましたが、今では粘り強く・がむしゃらに耐えぬいた自分がとても誇らしいです。これからは留学を最後まで支えてくれた家族、友人、国際課の方々、教授方への感謝の気持ちを忘れずに、そして留学経験を生かして残りの大学生活・社会人を頑張っていきたいと思います。

Q&A

1. 留学の準備はいつから始めましたか？

入学当初から留学に行きたいと考えていたので、同志社大学の留学説明会等を通じて情報を得ていました。また、それと同時にIELTSの勉強も始めていました。IELTSは模擬テストを何度も解いて練習しており、模擬テストはインターネット上の無料サイトを活用していました。留学先大学の情報の下調べは書類提出の2カ月前に行った程度で、もっと早めにやってもよかったと思っています。また、VISA発行にはパスポートが必要でしたが、私は持っていなかったため、そこから準備を始める必要があり、少し手間取った記憶があります。留学準備の手続きは早めに行うべきだと感じました。

2. 留学先での住居はどうされていましたか？

キャンパス内の寮に住んでいました。留学先大学から入学許可を得た時から、寮についての大学ウェブサイトを使って特に料金重視で選びました。住んでいた部屋のレイアウトは、一部屋の両サイドにベッドと勉強机がそれぞれ2つある程度でした。冷蔵庫やレンジはありませんでしたが、ルームメイトが現地の学生の場合、部屋においてある可能性が高いので、ルームメイトと連絡が取れるようになったら、その点に関して確認しておくのがいいと思います。

3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

同志社大学で英文学科所属のため文学系の授業に加えて、哲学、国際教養、ジャーナリズムなど幅広く履修していました。中でも1年間履修したASL (American Sign Language、アメリカ手話) はとても印象的で、身につけた知識は今の自分の特技でもあり、誇りに思っている言語です。他言語を他言語で学ぶことは容易ではありませんでしたが、その困難を乗り越えた分、知識・メンタル的にも大きく成長することができました。帰国後もそれらの知識を忘れないようにASLに関する動画や現地に住んでいる聴覚障がい者の方とのビデオ通話を通じて日々学びを深めています。

4. 留学中に就職活動はされていましたか？

留学生活が終わる3カ月前から同志社大学キャリアセンター主催のイベントに参加し、ある程度将来を考えるようにはしていましたが、ウェブテスト対策や自己分析はあまりできていなかったのもう少し就職活動のスケジュールを考えて行動すれば良かったなと思います。また、留学先での友人に自分の分析をしてもらうのも良い手だと今では思います。ただ、海外から日本で行われる説明会などに参加する際は、時差の関係で早朝や深夜にあたる場合もあり、生活リズムが多少崩れる可能性があるのも、その点は留意すべきだと感じました。

5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

(すべて1年間換算) 往復渡航費: 約40万 寮費: 約95万 学食代: 約100万 その他食費: 約40万

生活費: 約40万 娯楽費(他州への旅行など): 約30万 その他通信料、衣服、雑費: 約40万 (留学前のテスト受験料・VISA取得など: 約5万)

内訳はかなり大まかですが全体では約380万～400万です。外食は1回につき約2000円から3000円かかり、寮費、学食代が高いものの、無理ない範囲で節約すれば抑えることは十分可能だと思います。

留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 〉 派遣留学プログラム 〉 協定校 info

P.16
参照

派遣留学プログラム・英語

フィンランド



ヘルシンキ大学

留学体験記

夢だったフィンランド留学を実現して、もう一度留学に行こうと思いました。私は理工学部3年次生のタイミングで秋から留学をし、留年することなく大学院へ進学します。留学前から準備を始めれば、それも可能でした。航空券の手配や住居とVISAの手配(最優先)はもちろんですが、奨学金の申し込みや学内選考対策や出願書類の執筆&添削など、余裕をもって準備をするなら、留学開始時期の1年前から動く意味はあったと感じます。3年次生のタイミングだけで留学にも大学院にも行きたい! という方は私の例が非常に参考になるかと思います。

留学前には英語試験の対策、出願書類の準備と奨学金の応募から始めました。準備段階でも、今まで言語化してこなかった思いを形にしたり、英語を勉強したり有意義な時間が過ごせました。学内選考に通り、滞在許可証も取得して無事留学にいれば、今までにない経験ができます。

留学中はどんなこともすべて未体験。食事や交通機関も、友達とのおしゃべりも、知らないことだらけで気疲れすることもありました。正直、成功より失敗の方が多かったのですが、それでももう一度留学したいと思うのは、「そこから学ぼう」と思わせてくれる友人たちに出会えたからだと思います。派遣留学の本当の目的は、座学だけではなく、座っているだけじゃ見聞きすることのなかったものを肌で感じ学ぶことだと思います。日本ではなかったであろうことをしましょう。日本人をはじめ、国籍問わずに友達をつくって、いろんな国の人とつながりましょう。少しだけ勇気を出して話しかけたり、遊びに行ったりすることの積み重ねが、案外簡単に、半永久的な絆につながります。

留学を終えたあとは、おいしい日本食を食べて安心しました。いい留学だったなと断言できますが、私は今を「留学前」ととらえて、もう一度挑戦してもっと人と出会い、学びを深めたいと思います。

Q&A

1. 留学の準備はいつから始めましたか？

留学の準備は、出願書類の準備や添削依頼などからはじめ、1年前からしたことになります。学内選考で落とされないように、研究室訪問や教授訪問で関連分野の知見を深め、英語は猛勉強しました。学内選考を通過し、候補生になってからは、留学先大学への本出願準備(留学先大学へ提出するMotivation Letterは英語の先生に添削をしてもらいました)、VISAの取得や航空券の手配を進めていきました。留学中よりも留学前の方が忙しいかもしれません(私はそうでした)が、留学前に頑張っておくことが、留学中に好きなことに一本集中する秘訣です。

2. 留学先での住居はどうされていましたか？

私が派遣留学した際には、ヘルシンキ大学で1つの部屋が確保されました。したがって、フィンランドでは自力で探す必要はありませんでした。ただ、その部屋の種別(完全一人部屋 or キッチンシェア or シェアルーム)が希望通りになることはほとんどありません。フィンランドを含めヨーロッパの物件探しは非常に難航するので、学内選考に通ったら優先して準備することをお勧めします。

3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

実践的な授業を履修すると本当に刺激的です。私はフィンランド語の授業や世界一といわれた教育についての授業、一からソフトウェアを作る授業を履修しました。大学院生向けの授業でも履修できるなど、自由度が高く、内容を理解するのが大変でした。本格的な英語に初めて触れて、理解の齟齬や拙い英語でフィンランド人を困らせてしまうことはたくさんありました。それでも、友達を作って乗り切るのは同志社大学で実践していたことと同じでした。フィンランドでは、留学生や現地学生、先生とフラットな立場でお話できるので、みんなが理解するまで教えてくださり、親切で優しい空間で学べました。辛い時の方が僕は多かったのですが、結果的にはフィンランドの最難関大学でも同志社大学以上の成績を取ることができました。

4. 留学中に就職活動はされていましたか？

就職も考えましたが、留学中は留学にできるだけ集中したく思い、もっと学びたい気持ちもあったので大学院進学を決めました。やるべきことはたくさんありますが、留学前が一番大切です。進学して研究室に行くということは、進学希望の研究室にはきちんと挨拶に行かなければなりません。同志社大学以外の研究室も含めて事前に訪問し、見学させていただきました。海外にいる間にその場を堪能して帰ってきたのもあり最終的に、推薦で同志社大学の大学院へ進ませていただくことになりました。

5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

同志社大学の協定校への派遣留学なので、授業料は同志社大学のみに納めました。それ以外の生活費として、住居はキッチンのみ共用の、家具付きワンルームを借りて1ヵ月8万円でした。食費や通信費などを上乗せすると13万円くらいだったと思います。しかし、ここで節約するよりたくさんの経験をした方が良いと思います。北欧に旅行すれば、ヨーロッパも楽しめて一石二鳥以上なのでおすすめです。物価は案外高くないので、もう少し抑えることも可能です。

奨学金

https://international.doshisha.ac.jp/oia/scholarship/overview.html
各奨学金には、出願資格や併給についての条件があります。
奨学金の概要や要項を必ず確認してください。



サマープログラム／スプリングプログラム参加者対象の奨学金

同志社大学サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	5万円(返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

セメスタープログラム／E Uキャンパスプログラム参加者対象の奨学金

同志社大学セメスタープログラム履修者に対する奨学金／ 同志社大学E Uキャンパスプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円(返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

派遣留学生対象の奨学金

同志社大学外国協定大学派遣留学生に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円(留学期間3ヵ月以上6ヵ月未満) または40万円(留学期間6ヵ月以上) (返還不要)	出発する年の 年度末に一括給付	支給金額を超える 他の海外留学に対する 奨学金との併給不可	国際課



同志社校友会グローバル人材育成奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
2名 AKP加盟校およびKCJS加盟校への派遣留学生(学部生、大学院生) ただし、上記対象者がいない場合、 対象者を拡大する可能性あり	150万円(返還不要) (8ヵ月以上1年未満)	留学前に 一括給付	学内選考あり 他の海外留学に対する 奨学金との併給不可	国際課

協定校からの補助・奨学金

留学先大学によっては、独自で奨学金が支給される場合があります。
出願方法は、本学を通して出願する場合や、希望者自身が直接出願する場合等、留学先大学により異なります。

問合せ先	
大学間協定による派遣留学の場合	国際課 参照先: “Go Global” ポートフォリオ 〉派遣留学プログラム 〉協定校 info
学部・研究科間協定による派遣留学の場合	所属学部・研究科

認定留学生対象の奨学金

同志社大学認定留学に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学部・研究科教授会 または研究科委員 会において認定留 学が認められた者	15万円(留学期間3ヵ月以上6ヵ月未満) または30万円(留学期間6ヵ月以上) (返還不要)	出発時に一括給付	—	国際課

※文学部英文学科セメスタープログラムにより留学する場合は20万円を支給する。

海外活動を伴う学部科目参加者対象の奨学金

同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
当該科目登録者 全員	① 海外活動を行うことが授業科目である場合 (学部専門型留学): 5万円～(日数別) ② 授業科目の一貫として海外活動が行われる場合: 一時金3万円 (返還不要)	帰国後に一括給付	当該科目において 合格評価を得た者に 給付	国際課

その他学外団体からの奨学金

留学時特別増額貸与奨学金－独立行政法人日本学生支援機構(以下「JASSO」)

対象者	支給金額	支給回数	備考	問合せ先
以下条件をすべて満たす人 ①第一種または第二種奨学金の貸与中である ②留学中に取得した単位が認定される3ヵ月以上の留学をする ③「国の教育ローン」に申し込み、融資を受けられなかった	10～50万円の 10万円単位の金額 から選択(有利子)	1回限り	申請方法・時期等は問合せ先におたずねください。	学生生活課 今出川校地 寒梅館1階 京田辺校地 成心館1階

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
0～若干名 (年度により人数が異なる)	月額8～12万円 (返還不要) (留学先の国・地域により異なる)	参加する留学プログラムの実施期間により異なる	学内選考あり JASSO貸与第一種、第二種奨学金との併給可	国際課

※本制度は各プログラムがJASSOより採択された場合のみ支給対象となります。採択された場合は大学から対象者に連絡します。

海外留学支援制度(大学院学位取得型)－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学位取得目的で 海外の大学院で 学ぶ者 ダブルディグリー・ プログラムも可	月額17万7千円～ 38万8千円 (年度・留学先地域により異なる) (返還不要)	博士前期(修士)は 2年まで 博士後期は3年まで	授業料(保険料等の 各種経費は除く) の支援あり	JASSO

※本学では大学とりまとめ応募は行っておりません。個人応募のみとなります。

奨学生の声

派遣留学プログラム

コロンビア大学(KCJS加盟校)

私は現在、同志社校友会グローバル人材育成奨学生としてご支援をいただきながら、アメリカ・ニューヨークのコロンビア大学で1年間の留学生活をしています。近年の円安の影響も重なり、アメリカ国内でも物価が極めて高いニューヨーク、なかでもマンハッタンでの生活では、日々その物価の高さを実感しております。例えば、ノート一冊で800円ほど、コロンビア大学の学食は一食あたり2,700円にも及びます。このような環境では、奨学金の支援なしに学生生活を送ることは決して簡単ではありません。そのため、今回のご支援は、私が学業に専念し、安心して留学生活を送るうえで大きな支えとなっております。奨学金のおかげで経済的な不安が和らぎ、学業と私生活のバランスを無理なく保つことができております。おかげさまで、毎日の学びに全力で取り組みながら、留学生活そのものもとても充実したものになっております。



その他学外団体からの奨学金【希望者自身で出願する自由応募型奨学金】

地方自治体／民間団体の奨学金

都道府県や市町村が、その地域の出身学生の海外留学を支援する奨学金を設けている場合があります。また、民間の団体・財団等が留学を支援する奨学金を設けている場合があります。

外国政府等の奨学金

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学等へ留学する学生を支援する奨学金を設けている場合があります、それぞれに応募条件が定められています。また、留学先大学を本国側で指定される場合があります。

海外で募集される奨学金

留学先大学が独自に奨学金(授業料減免等も含む)を募集する場合や、現地の研究所や民間の団体が募集する場合があります。

学外奨学金参考URL

同志社大学国際課奨学金情報

<https://international.doshisha.ac.jp/oia/scholarship/other.html>
同志社大学国際課に届いた奨学金情報を掲載



JASSO 海外留学奨学金検索サイト

https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship_abroad.html



公益財団法人助成財団センター

<https://www.jfc.or.jp/>
日本の助成財団による、海外留学に限定されない助成制度を掲載



金融機関による教育ローン

留学資金を自己資金や奨学金で賄うことが難しい場合、金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」

外国の高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院等の教育施設に留学する場合に融資の対象となります。

その他の金融機関の「教育ローン」

留学の場合にも利用できるものもあります。詳しくは、最寄りの金融機関にお問い合わせください。

奨学生の声

派遣留学プログラム

ポモナ大学(AKP加盟校)

私は同志社校友会グローバル人材育成奨学生として、南カリフォルニアのポモナ大学に留学しております。現地では依然として円安と物価高が続き、生活必需品さえ高騰する厳しい状況ですが、同志社校友会からの多大なるご支援のおかげで非常に充実した生活を送ることができております。学業の合間には、友人と少し背伸びしたレストランでの食事や、LAならではのアメフト観戦、ミュージカル鑑賞などを通じ、アメリカ文化を肌で感じております。移動の際にも、金銭面をあまり気にせずに、安全な交通手段を選択できていることは生活上の大きな支えとなっております。これからも勉学に励みつつ、今しかできないことに全力で挑戦してまいります。



語学力向上・語学試験における本学のサポート・国際関係科目・留学生との交流

語学力向上

正課科目

外国語教育科目

英語

1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした基幹科目を習熟度別に合わせて履修します。意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目(職業として英語を使用することを想定した科目、大学院進学など学術的な分野で英語を使用することを想定した科目)、留学に必要なTOEFL® テストやIELTS™ 対策を主として行う留学準備科目を設置しています。

科目例		
基幹科目		
・Intensive Advanced English 1・2	・Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2	・General Academic English (LS) – Intermediate
・Core English (LS) - Intermediate 1・2	・Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2	・General Academic English (RW) – Intermediate
・Core English (RW) - Intermediate 1・2	・Basic English (LS) 1・2	・General Academic English (LS) - Pre-Intermediate
	・Basic English (RW) 1・2	・General Academic English (RW) - Pre-Intermediate
上級科目		
・English for Professional Purposes 1・2	・English for Academic Purposes 1・2・3	
留学準備科目		
・Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2	・Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2	

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2、Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2
TOEFL® テストやIELTS™ といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。こちらの科目は2021年度以前生も履修可能です。

初修外国語

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の6つの言語について科目を設置しています。各外国語とも1年次で文法、発音の基礎を学び、2年次で読解力、表現力を向上させます。3・4年次生向けの上級科目や会話科目等、多彩な科目を設置しています。

■ 外国語オナーズ(外国語科目成績優秀者表彰制度)

高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度です。(学期始めに募集周知)

■ 語学カウンセリング

グローバル・コミュニケーション学部とグローバル地域文化学部所属教員に、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語での留学や学習方法等の相談ができる制度を設けています。今出川／京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて要予約。

留学出願／帰国後の実力確認に役立つ語学試験

主な語学能力試験

英語	TOEFL ITP®	国際課主催で年7回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課 HPをご確認ください。
	TOEFL iBT®	ETS(Educational Testing Service)のHPから各自お申し込みください。
	IELTS™	JSAF が主催するIELTS™ のテストは、本学で受験することができます。 ～ IELTS for UKVI ～ イギリスに長期留学する場合に、学生ビザを取得する語学証明として必要となる場合があります。詳しくは、英国大使館 HPをご確認ください。
	TOEIC® L&R IP	国際課主催で年8回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課 HPをご確認ください。
	TOEIC® L&R	国際ビジネスコミュニケーション協会の HP から各自お申し込みください。



◀(参考)
外国語学習
ガイドブック

ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験	スペイン語	DELE
	ドイツ語技能検定試験		スペイン語技能検定
フランス語	DELF	ロシア語	ロシア語検定試験(TPK И)
	TCF		ロシア語能力検定試験
	実用フランス語技能検定試験	コリア語	「ハングル」能力検定試験
中国語	漢語水平考試(HSK)		韓国語能力試験(TOPIK)
	中国語検定試験		

TOEFL iBT® / IELTS™ テスト / TOEFL ITP® と TOEIC® L&R テストの違い

	IELTS™	TOEFL iBT®	TOEFL ITP®	TOEIC® L&R
目 的	主に英語圏の大学等に入学する上で、学業を修める英語能力があるかを判断するための一つの指標。			主に日本の企業等が社員の英語能力を確認する上での一つの指標。
試験内容	主に英語圏の大学生活に即した問題が多い。			主に日常生活やビジネスの場に即した問題が多い。
難 易 度	学修に必要な英語力を確認することが目的であるため、受験者にある程度の英語力が備わっていることを前提としており、難易度の高い問題が出題される。			非常に簡単な問題から難しい問題まで様々な難易度の問題が出題される。
問題構成	4技能 「聴く・話す・読む・書く」		2技能 「聴く・読む」	2技能 「聴く・読む」
実施方式	PC/ ペーパー	PC	ペーパー	ペーパー
主 催 国	イギリス/ オーストラリア	アメリカ	アメリカ	アメリカ

外国語能力に関する個人情報の取扱いについて

英語のクラス分け試験のスコアや国際課主催で実施するTOEFL ITP® テスト、TOEIC® L&R IPのスコア、単位認定で大学に提出したスコア等、大学で把握しているスコアは、大学全体でのスコア分析等に、個人が特定されない形で活用させていただく場合があります。

語学試験対策講座(正課外講座)

IELTS™ 対策講座	https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/ielts_koza.html
-------------	---

IELTS™(International English Language Testing System -アイエルツ)は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカ等、140か国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学では、課外講座として「IELTS™ 対策講座」を実施しています。

以下は、2026年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課 HPを確認してください。

開講時期	春期休暇	2月下旬～3月下旬
	夏期休暇	8月下旬～9月上旬
定 員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1～2クラス ・申込者多数の場合は、先約順(最少催行人数に申込人数が満たない場合は開講しない)	
受 講 料	春期休暇	国際課 HPを確認
	夏期休暇	
申込期間	春期休暇	1月中旬～2月中旬
	夏期休暇	5月下旬～8月上旬
申込方法	Web 申込(申込 URLは募集開始時に公開)	
問合せ先	国際課	

TOEIC® L&R テスト対策講座	https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/toEIC_Lrip_koza.html
--------------------	---

本学では、Standard(550点)コース、Advanced(730点)コースの2コースの対策講座を実施しています。

以下は、2026年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課 HPを確認してください。

開講時期	春学期	6月下旬～7月中旬
	夏期休暇	9月中旬～9月下旬
	秋学期	11月下旬～12月中旬
	春期休暇	3月上旬～3月中旬
定 員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先着順(最少催行人数に申込人数が満たない場合は開講しない)	
受 講 料	国際課 HPを確認	
申込期間	国際課 HPを確認	
申込方法	国際課 HPを確認	
問合せ先	国際課	

※TOEFL® およびTOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。
※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短略形です。

語学試験における本学のサポート



留学プログラムへの申請を前提とした外部試験の受験料半額補助

https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/subsidy.html

留学プログラムへの申請を前提に、学外機関の実施する語学試験を受験後、申請期間に申請された場合、受験料の半額補助を受けられる制度です。申請期間は、春学期および秋学期に設定されており、補助を申請できる試験は、本学で指定している試験に限ります。年度によって、募集時期、募集方法や対象となる試験を変更する可能性がありますので、必ず国際課HPから詳細を確認してから応募をするようにしてください。



国際関係科目

外国語による科目履修

本学では、下記のとおり外国語で行われる科目を設置しています。幅広い分野の学びと、更なる語学力向上につながる科目です。また、これらの科目の中には、外国人留学生とともに学ぶ科目もあり、日本にいながらグローバルな環境で学ぶことができます。

SAP(Study Abroad Program) 科目

下記の海外トップレベルの大学やコンソーシアム(複数の大学で構成される団体)が同志社大学今出川キャンパス内に日本オフィスを設置しています。そして、日本や東アジアに興味や研究対象を持つ留学生や教員が毎年多数来日し、同志社大学のオフィスや教室を拠点として日本に関する勉強・研究をしています。通常、これらの大学やコンソーシアムは同志社大学とは別の組織として独自に授業や研究を行っていますが、一部の授業は同志社大学生も受講することができます。科目ごとの概要や登録・履修上の注意点は下記のウェブサイトをご確認ください。

AKP(Associated Kyoto Program) 科目

https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/akp.html



AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ペイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies) 科目

https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/kcjs.html



KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、1年または1学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの14の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学、タフツ大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

スタンフォード大学科目

https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/stanford.html



スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

チュービンゲン大学科目

https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/tub.html



チュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのチュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年チュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているチュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をチュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、チュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)

ILA(国際教育インスティテュート) 科目

国際教育インスティテュート(ILA)は、志高館を拠点にリベラルアーツ教育を英語で行う組織です。英語での科目履修のみで学位を取得し卒業できる「国際教養コース」の学生が履修しています。国際教養コースには、留学生のほか、日本人でも帰国子女等英語力が高い学生が所属しています。ILAの科目はすべて英語で行われ、"Japanese Society and Global Culture", "Japanese Business and the Global Economy", "Japanese Politics and Global Studies"の3つのコンセントレーションに分かれています。学部によっては、ILAの一部の科目を「国際専修コース」生として履修できる場合があります。履修可否・履修方法・履修可能科目等の条件は、学部ごとに異なります。詳細は、所属学部事務室にお問い合わせください。

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目の一部を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。講義はすべて英語で行われます。(詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照)

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目の特徴

・グローバル社会で活躍するために必須の国際教養を身につける

・実践的な英語運用の力を磨く

・海外留学のための準備、帰国後のフォローアップとしても効果的

・少人数クラス(1クラス25人程度)中心

・外国人留学生とともに学ぶクラス

・グループワークやディスカッション中心の対話型授業

・副専攻の履修を目標にしていない場合でも、1科目のみでも履修可能

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(例)	
海外フィールドワーク	Mid-college “Be Strong” Program (アメリカ・ワシントンD.C.) 国際教養の修得および実践的な場での英語運用能力を高めたい学生を対象としたプログラムです。 グローバルリーダーが集まるワシントンD.C.で、実際に働く人々や学ぶ学生との出会いを通して、真のグローバルリーダーシップとは何かを探ります。
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context
応用・発展	Humanities and Global Issues
	Social Sciences and Global Issues
各論・展開	Japan in Modern World History
	Issues in Japanese Culture
	Democracy and Politics: A Comparative Perspective
	Economy and Business in the Global Context
	Statistics for the Social Sciences and Humanities
	Introduction to Computer Science and Information Technology
SAP(Study Abroad Program)	Advanced Seminar 1・2・3
	AKP科目
	KCJS科目
	スタンフォード大学科目

■ 同志社英語集中プログラム

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講し、海外留学を実現できるよう、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの修得を目指すプログラムです。副専攻の英語開講科目を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをお勧めします。詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。

グローバル人材になるための基礎固め- グローバル人材関連科目

本学では、グローバル社会で活躍するために必要な能力を身につけた人材を育成することを目的に、全学共通教養教育科目の国際教養科目群を中心に多様な科目を設置しています。外国語によるコミュニケーション能力や国際社会における諸課題を理解し分析・解決する能力の向上、日本と世界の歴史や文化・宗教への理解や、日本の伝統や現代文化に対する知識の修得が可能です。

科目例	クリエイティブ・ジャパン科目
・建学の精神とキリスト教、旧約聖書とキリスト教、新約聖書とキリスト教 ・ジョイント・セミナー比較文化論 ・日本近現代史、世界近現代史、世界の宗教 ・国際関係学概論、国際文化学概論 ・Freshman “Go Global” Program -51(ベトナム) ・Freshman “Go Global” Program -52(ドイツ他)※2026年度休講 ・クリエイティブ・ジャパン科目	「クリエイティブ・ジャパン科目」は京都科目、クールジャパン科目、クリエイティブ・ジャパン科目のほか、言語や文化の異なる学生同士が日本の伝統、文化についてともに学ぶ科目で構成され、文化、芸術による日本社会のクリエイティビティの向上と、文化による日本のブランディングについて考察します。 また、日本の文化を世界に発信する力の強化なども扱います。

本学では、創立以来一貫して国際主義を教育理念の一つの柱としており、高度な語学教育を提供しています。また、課外講座として語学試験対策講座等も実施しています。シラバス、外国語学習ガイドブック、登録要領等をもとに、必要科目を検討の上、科目登録をしてください。

留学生との交流

外国人留学生との交流

本学では、国際交流促進のため、様々な機会を提供しています。また、外国人留学生をサポートする制度を設けています。国際交流活動に積極的に参加することで、外国人留学生の本学での生活が充実したものになることはもちろん、日本在住の皆さんにとっても、日本にいながらにして国際交流・異文化理解を深化させ、様々な経験や知識を得る絶好の機会となります。詳しくは、本学HPや留学生課揭示板、SIED Instagram 等をご覧ください。

国際交流ラウンジ

国際交流ラウンジは、国籍を越えた交流を目的に設けており、外国人留学生も頻繁に利用しています。開室時間中は自由に利用でき、また、国際交流イベントも多数開催していますので積極的にご活用ください。詳しくは、留学生課へご確認ください。



今出川校地	扶桑館2階 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
京田辺校地	嗣業館1階 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

国際交流イベント

国内学生と外国人留学生が交流する様々な機会を提供しています。留学生課学生スタッフSIED(Student Staff for Intercultural Events at Doshisha -シード)は、外国人留学生歓迎行事や多種多様な国際交流イベントを企画・実施しています。詳しくは、留学生課HPやSIED Instagram、国際交流ラウンジ揭示板等をご確認ください。





外国人留学生サポート

本学では、外国人留学生との交流のきっかけとなる各種ボランティア・サポーターを年間を通じて募集しています。詳しくは、各事務室へお問い合わせください。

各種サポート	問合せ先
日本語授業ボランティア	国際教養教育院事務室
入寮サポート	留学生課
新入外国人留学生サポートサービス	
短期プログラム交流ボランティア	



外国人留学生ピアサポート制度

本学の学生が、外国人留学生の修学・生活上の相談に応じたり、日本語学習の会話パートナーとして異文化交流を深めたりする「外国人留学生ピアサポート制度」を設けています。詳しくは、留学生課へご確認ください。



外国人留学生
ピアサポート制度
(留学生課HP)

留学先での生活

生活全般

住居

基本的に留学先での住居は主に下記3つのパターンがあり、参加するプログラム、留学する国、留学先大学によって滞在先は異なります。

寮に関する手続きを
事前に確認して
おきましょう。

①大学寮

大学の敷地内にある学生寮に滞在する形態です。ルームメイトがいる共同部屋の寮もあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルーム等に隣接しているアパートタイプの寮もあります。ほとんどの場合、ベッド、勉強机、クローゼット等は備えつけられていますが、シーツや毛布等は自身で用意します。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣のディスカウントストア等でそろえることが多いです。

②ホームステイ

留学先大学やその提携機関が斡旋する、現地の一般家庭に滞在する形態です。家具つきの1人部屋が与えられ、家族の一員として留学期間を過ごします。ホストファミリーの家族構成は、両親と子ども、老夫婦、シングルペアレントと子ども、未入籍のカップル等様々です。人種や宗教等も家族ごとに異なります。身をもって留学先の生活様式や文化を学ぶことができます。また、複数の学生を受け入れているホストファミリーやベットのいるホストファミリーもあります。

③アパート

留学先大学等が斡旋する現地のアパートに滞在する形態です。留学先大学に学生寮がない等の場合の選択肢となります。また、留学開始時は学生寮に住んで、現地に慣れてきたら寮を出てアパートに移るという選択肢もあります。ベッドやテーブル等の備えつけ家具つきの物件を選んだり、いくつか部屋があるアパートを何人かで借りてルームシェアをすることで安く生活する方法もあります。食事は自炊の場合が多いですが、大学の食堂等で取ることも可能です。**契約書にサインする前に、トラブル防止のため、必ず物件や契約内容の確認を入念に行いましょう。**

食事

食事は、大きく分けて下記3つのパターンがあります。

①Meal-Plan

多くの場合、大学には食堂やカフェテリアがあり、そのMeal-Planを利用します。通常、1週間あたりの食事の回数が決まっており、週15回、19回、21回等、自分のライフスタイルに合わせて選べることが多いです。食事はビュッフェ形式等様々です。寮生活の場合、食費は寮費と一緒に納める場合もあります。

②ホームステイでの食事

一般的に平日は朝・夕食つき、週末や休日は朝・昼・夕食つきの家庭が多いです。平日の昼食は、自身でお弁当を準備して持参したり、留学先大学のカフェテリアや大学近くのレストラン等で食べることになります。その他、平日・休日を問わず1日3食の用意がある場合もあります。

③自炊

キッチンがついている寮であれば自炊もできます。また、ホストファミリーに許可を得て、ホームステイ先のキッチン进行して自炊ができる場合もあります。

大学生活

学業

慣れない海外での生活をしながら勉強に集中することは大変なことです。また、言葉の壁がある中で勉強することは想像以上に労力を必要とし、思うようにいかないこともたくさん経験するかもしれません。しかし、最後まで必死に努力すれば、留学後には飛躍的に成長したことを実感できるはずです。

課外活動

留学先大学によっては、クラブ活動、ボランティア活動、インターンシップ等に参加することができる場合があります。また、International Center 等が主催している留学生のための交流プログラムがあったり、Language Partner 制度や International Festival 等、様々なプログラムやアクティビティ等が用意されている留学先もあります。

授業が始まる前に多くの
人たちと交流し仲良くなれる
機会となるでしょう。

オリエンテーション

多くの場合、留学先大学到着後の講義開始前に、留学生を対象とした学内施設の紹介、各種支援サービス、科目登録方法等に関する重要な説明会があります。留学生生活を開始するにあたり有益な情報を得ることができますので、必ず参加するようにしましょう。プログラムによっては参加が必須の場合もあります。

健康管理

慣れない海外での生活では、健康管理が非常に重要です。体調を崩さないように健康管理には十分に気をつけましょう。もし身体の調子がおかしいと感じた場合は、速やかに留学先大学の診療所や病院を受診しましょう。また、時には精神的に辛いことも出てくるかもしれません。困ったときや悩んだときは一人で抱え込まず、友人や留学先大学のスタッフ、カウンセラーに相談するようにしましょう。

出発前の準備

持病がある場合、自己責任のもと、対処法を十分に理解し、万が一に備えて準備しておく必要があります。もし現地で発病した際に周りの方や現地の医師に病氣の内容や今までの経過を説明できるよう準備してください。持病の程度によっては、英文の診断書を留学先に持っていくとよいでしょう。現在服用している常備薬があれば、可能な範囲で持参しましょう。ただし、日本では医師から処方してもらった合法の薬でも、渡航先の国によっては持ち込むことができない場合があります。取扱いは渡航先の国・地域によって異なりますので、処方箋や持参する量等が渡航先の法令上問題がないか事前に自身の責任で十分に確認してください。禁止薬物の持ち込み・所持・使用は厳しい処罰が科せられる場合があります。なお、歯の治療は、国・地域によっては十分な治療を受けられない場合や治療費が極めて高額になる場合があります。歯の治療は海外旅行保険等では原則カバーされないため、場合によっては高額な出費になります。出発前に必要な治療をしてから渡航してください。

けが/病気になったら

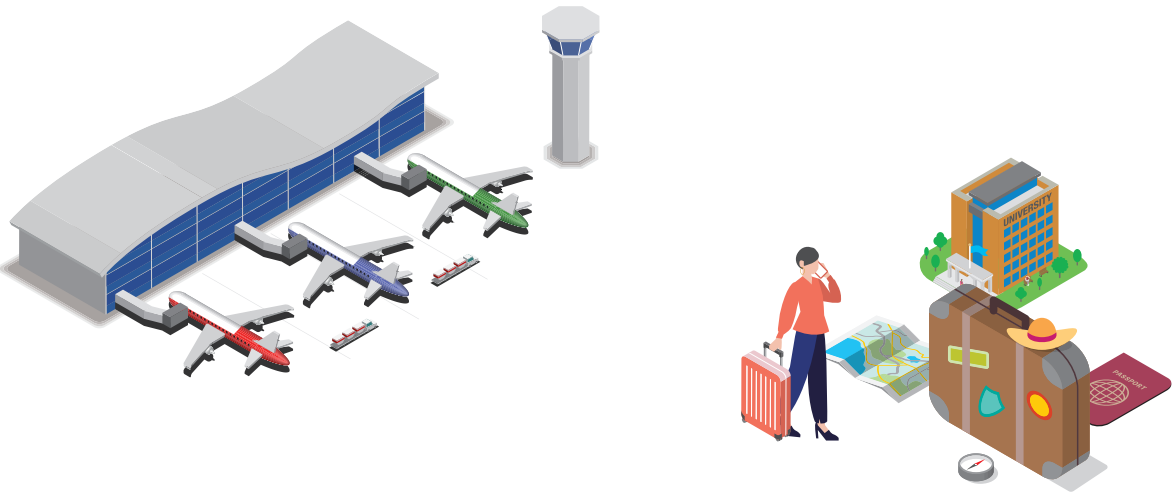
まずは留学先大学の診療所や近隣の病院で受診してください。大学には診療所や病院が併設されている場合もあります。事前に場所や受診に必要な書類等を確認しておくことも重要です。どの病院を受診すればよいかわからない場合や緊急の際は、身近な人に助けを求めるとともに、「留学生危機管理サービス」(P.45参照)のヘルプライン(24時間受付)に電話してください。病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」を受領しましょう。後日、海外旅行保険を使って保険金の請求をする際に必要となります。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求が可能なため、領収書を保管するようにしてください。

カルチャーショック(留学中)

外国等の異なる文化で生活する中で、自分の生まれ育った国や文化で培ってきた言葉や習慣、行動様式等が通用しないことで起こるショック状態のことを指します。異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、焦り、不安、神経質、憂うつ、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症等となって現れることもあります。カルチャーショックについて渡航前に知っておき、実際にカルチャーショックを感じた時は、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談ください。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、自分なりに克服すれば、自国と他国の長所と短所を冷静に比較できるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

逆カルチャーショック(帰国後)

留学後に自国の社会に戻った際に直面する適応上の問題や心理的葛藤のことを指します。留学先で培った価値観や行動様式をそのまま自国に持ち帰ったものの、それが通用せず、「以前と変わった」等と批判されてショックを受けることがあります。逆カルチャーショックへの対処法で大切なことは、自分自身を肯定的にとらえることです。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ逆カルチャーショックが起こっているのですから、自分は2つの異文化に適応できた、自国と留学した国両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をするように心がけましょう。カルチャーショックを克服したように、逆カルチャーショックも時間が解決してくれます。あまり焦らず、自分の置かれた環境をよく観察して、どのようにしたら「留学体験」をこれからの進路に活かせるかを考えましょう。



危機管理

皆さんが住んでいる日本は、世界で最も安全な国の一つです。一般的に、海外では日本よりも様々なリスクがあります。「リスクを減らす行動を心がける」「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底することが重要です。軽率な行動は取らない、危険な場所は避ける、安全に関する情報を収集する、犯罪者に狙われやすい格好や隙のある行動をしない等、トラブルを招く可能性がある行動をできるだけ減らし危険を回避すること、トラブルが発生した場合も被害を最小限に抑えることが大変重要です。また、昨今の世界情勢は刻一刻と変化しており、比較的安全と思われていた国や地域でも犯罪が急増したり、テロ等の標的とされるケースがあります。どこの国・地域に留学しようとも、学生の皆さん一人ひとりが危機管理や自己防衛意識を高く持つことが求められます。以下は、気をつけなければならない例です。注意すべきことはこれだけではありませんが、危機意識を強く持っておきましょう。

- 人の少ない場所には1人で行かない
- 大金を持ち歩かない、複数の財布を併用する等お金を分散して持ち歩く
- 人が多く集まる場所にはできるだけ近づかない
- 見知らぬ人には気を許さない
- (スリ・テロ等のリスク回避)
- 日没後はできるだけ出歩かない
- 華美な服装を避ける、高価なものやブランド品を身につけない
- 現地の法令を守る(交通規則・飲酒年齢に違反しない)

トラブルが発生した場合

どれだけ注意していても、トラブルに巻き込まれることはあります。そのような場合は、まず、「留学生危機管理サービス」のヘルプライン(24時間受付)に連絡してください。必要な手続等について適切なアドバイスやサポートを受けることができます。その上で、警察への被害届の提出、ポリスレポート(被害届)受理書の入手等を行ってください。その後の保険金請求等に必要となります。

盗難・紛失

特にホームステイ先やホームルームで盗難・紛失があった場合、自分の仲間や友人を疑うことになり、今後の信頼関係を築くことが難しくなる可能性があります。日本から遠く離れた環境で、精神的にも辛い経験となる場合がありますので、被害に遭う隙を与えないように行動しましょう。

海外旅行保険

同志社大学の海外留学制度で留学する場合、本学が条件を指定する海外旅行保険への加入が義務付けられています。指定の海外旅行保険に加入しない場合、留学できません。留学中のけがや病気、盗難等に備え、必ず加入してください。クレジットカード付帯の海外旅行保険は、補償期間や補償内容が不十分です。また、留学先大学等が指定する健康保険等に参加する場合であっても、学期外の期間は対象外・賠償責任保険がない・救援費用が出ない等、補償期間や補償内容が不十分な場合があります。必ず本学指定の海外旅行保険に加入してください。なお、本学指定の海外旅行保険は、学生の皆さんの経済的な負担を減らすため、東京海上日動火災保険株式会社と海外旅行保険の包括協定を締結し、割安な保険料で申し込むことができるようにしています。

セクシャルハラスメント

留学中に文化の相違により、意思疎通がうまくいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。そのような誤解が、レイプやセクシャルハラスメントを引き起こすことがあります。自分自身を守るため、文化の違いを理解しておくことが重要です。嫌な場合は、はっきり「No」と伝え、曖昧な態度を取らないようにしましょう。また、閉ざされた空間で二人きりになることは極力避けましょう。当事者同士の話し合いで解決が困難な場合、留学生アドバイザーやカウンセラー等、信頼できる人にご相談ください。

自動車の運転

同志社大学の留学プログラムによる留学中は、**自動車・バイクの運転は一切禁止です**。万が一自動車・バイクを運転し、交通事故を起こした場合は多額の賠償金を請求されることがあります。

飲酒・喫煙

留学先によって法律で認められている年齢が異なり、違反すると厳しい処罰が科せられます。渡航先の法令や留学先大学のルールを遵守してください。

麻薬・覚醒剤

留学先によっては、日本よりも薬物が身近に売買されている場合があります。マリファナを含む麻薬・覚醒剤は、一度使用しただけで、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難となります。また、麻薬・覚醒剤の所持・使用は、死刑等、日本以上に厳しく処罰される国も少なくありません。**薬物には絶対に手を出してはいけません**。薬物に触れることで、人生を台無しにしないよう、十分注意してください。

外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

外務省海外安全ホームページには、国・地域ごとの安全情報・危険情報・感染症危険情報・スポット情報・広域情報が掲載されています。また、海外渡航・滞在に役立つ情報を調べることもできます。出願前に、必ずご父母等の保証人の方とともに、渡航予定の国・地域の情報を確認してください。



同志社大学の危機管理

留学生危機管理サービス

同志社大学では、本学の海外留学制度で留学する学生を対象に、海外留学生安全対策協議会(JCSOS)または日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入を行っています。このサービスへ加入することにより、留学中のトラブルを24時間年中無休でサポートする体制を整えています。安否確認や留学先でけがや病気等に遭った場合の現地医療機関の紹介や予約手配、医療受診時等の通訳手配、医療搬送、また、現地で事故、災害、テロ、その他のトラブルに巻き込まれた場合には現地へ人員を派遣、ネゴシエーターを手配等解決への適切な対応を行うアシスタントサービスです。

留学プログラム実施の判断

同志社大学の海外留学プログラムは、日本国外務省海外安全ホームページの「危険情報」「感染症危険情報」をもとに、「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」以上の地域への留学は原則として行っていません。「レベル2」もしくはそれ以上の危険情報が発出または継続している場合、学生の皆さんの安全確保を最優先とし、留学期間中であっても留学を中止し帰国を勧告することとなります。

留学と就職活動

「留学に行きたいけれどその後の就職活動が心配」という方は、キャリアセンターに相談しましょう。

■帰国後の就職活動を視野に入れた留学計画を

留学を考えている方は、「留学するとその後の就職活動にどのような影響があるのか?」「帰国後の就職活動をどのように進めればよいのか?」など様々な疑問や不安があると思います。基本的な就職活動スケジュールは【表1】の通りですが、特に、3年次生・修士1年次生の3月1日以降(企業の採用選考活動が正式に始まる時期)に帰国予定の場合は、留学中から可能な範囲で就職活動の準備を進め、情報収集等しておく必要があります。帰国予定が3月1日以前でも、就職活動準備が本格化する10月以降に帰国する場合は、同様に準備を進めておくといでしょう。実際には、留学が就職活動に与える影響の度合いや準備の進め方は、留学時期や帰国のタイミング、希望する進路によって異なります。個々のケースについては、キャリアセンターの「個別相談」を利用して相談してください。

【個別相談の利用方法】

キャリア支援システム「e-career」から
事前予約をしてください。
e-careerトップ画面⇒MENU⇒個別相談
<https://e-career.doshisha.ac.jp/portal/>

【表1】就職活動スケジュール概要 ※2027年9月・2028年3月卒業・修了見込者の場合

2026年												2027年									
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
3年次生・修士1年次生												4年次生・修士2年次生									
夏・秋・冬のインターンシップ																					
就職活動の準備期間												(3/1～)企業の採用選考活動									
自己分析、業界・企業・職種研究、エントリーシート作成、面接対策、就職ガイダンスや各種セミナーへの参加など												企業説明会への参加・エントリーシート提出・筆記試験・面接など									
												内々定							内定		

■留学中にできる就職活動(一例)

留学中は、以下のような方法で就職活動の準備を進めることが可能です。オンラインでの就職支援サービスや、企業のインターンシップおよび選考は今後も継続される見込みで、海外からの就職活動も進めやすくなっています。

◆キャリアセンターの就職支援をオンラインで利用する

- ・就職ガイダンスや各種セミナーの一部はオンラインで実施、後日視聴できるようにオンデマンド動画配信も行っています。
※オンデマンド動画視聴方法: e-careerトップ画面⇒セミナー動画配信
- ・前述した「個別相談」はWebでの相談にも対応していますので、留学先からでも利用できます。

◆オンラインで実施される企業のインターンシップや説明会等へ参加する

◆海外で開催されるキャリアイベントへ参加する

- ・キャリアフォーラム(株式会社キャリアス主催)、マイナビ国際派就職 など

■留学経験を就職活動で活かすために

留学=就職に有利、という訳ではありません。就職活動では「どのような目的をもって留学し、どのような目標設定を持って過ごしたのか?」「その過程でぶつかる困難に対し、どう考え、行動して乗り越えようとしたのか?」という成長の過程を自分の言葉で伝えることが求められます。そのために、留学中は日々の記録を書き留めておくことをお勧めします。
企業が留学経験者に期待するのは、語学力や異文化適応力だけではありません。日本と異なる環境で培ったチャレンジ精神や多角的な視野、多様な価値観を持つ人々と協業、交渉できるコミュニケーション能力など、グローバル人材として必須の能力がより一層求められていることを理解しておきましょう。

留学経験・語学力を活かせる「キャリア」を考える

キャリアセンターでは、例年春学期を中心に様々な分野でグローバルに活躍される本学 OBOG の講演会などを実施しています。留学経験・語学力を活かせる仕事を知る絶好の機会ですので、ぜひ参加してください。
※2026 年度の開催概要は決定次第、キャリアセンターホームページでお知らせします。

キャリアセンター利用案内

今出川校地 寒梅館 2 階 TEL 075 -251-3310
京田辺校地 日耀館 2 階 TEL 0774-65 -7016

〈開室時間〉
平日 / 9:00 - 11:30、12:30 - 17:00
土曜・日曜・祝日および大学が定める休日は閉室
※開室時間などの変更については、キャリアセンターホームページでお知らせします。

< キャリアセンターホームページ >
<https://career-center.doshisha.ac.jp/career/>

Study Abroad × Career Design Sheet



留学前 具体的に考えてみましょう！

★自分に合った留学プランを立ててみましょう！(目的・期間・国/地域・出発/帰国時期・予算 etc...)

何を学びたい? 目的は?(例:語学力向上)	
期間は?(例:1 セメスター)	
時期は?(例:2 年生秋学期)	
地域は?(例:中国)	
予算はどのくらい?(例:1ヵ月約●万円)	

留学中 目標があるかないとでは大違い! 想像してみましょう！



★留学中に身につけたいことは? ※語学力+αで考えてみましょう。

★留学中にできる就職活動にはどんなものがあるのか、調べてみましょう。

★こうなっていたい! 留学後の自分！

留学後 留学を留学だけで終わらせない! その先を見据えて考えてみましょう！



★留学後の自分のアピールポイントは？

★留学経験を活かしたい分野・職業は？

Doshisha “Go Global” Passport

Doshisha “Go Global” Passport とは

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha “Go Global” Passport」を授与します。これは、グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証しになります。

また、所定の手続により、成績証明書に「Doshisha “Go Global” Passport」取得者であることが記載されます。取得を目指して、積極的に関係科目を履修しましょう。



授与要件:次のIまたはIIのいずれかを満たした者に授与する。

※2013 年度以降入学の学部生に授与するものとする。

I 次の①から④のいずれかを満たし、⑤および⑥のすべてを満たした者

① 右表の「授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。

② 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」
「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」
「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」
「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。

③ 初修外国語について、右表の「授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。

④ 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価などを得ていること。

⑤ 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちのいずれか1科目の単位を修得すること。

⑥ 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際関係学概論」「国際文化学概論」のうち2科目の単位を修得すること。

■ 授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア

試験名	スコア／級
TOEFL iBT® テスト(※) TOEFL iBT® Home Edition テストも可	2026年1月20日以前に実施された試験:79～ 2026年1月21日以降に実施された試験:Total (1～6):4～
TOEFL ITP® テスト	550～
TOEIC® L&R テスト	730～
TOEIC® L&R IP テスト	730～
IELTS™	6.0～
国連英検	A 級以上(該当級:A、特 A)
英検	準1 級以上(該当級:準1 級、1 級)
ケンブリッジ英検	First Certificate 以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
CASEC	700～

なお、国際教育インスティテュート (ILA) においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなします。
※「Test Date スコア」のみ可。「My Best™ スコア」は認めない。
※IELTS™「One Skill Retake スコア」は認めない。

■ 授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア

	試験名	スコア／級
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1 以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1 級以上(該当級:準1 級、1 級)
フランス語	DELFL	B1 以上(該当級:B1、B2、C1、C2)※C1、C2は、試験名がDALFとなる
	TCF	B1 以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	実用フランス語技能検定試験	準1 級以上(該当級:準1 級、1 級)
中国語	漢語水平考試(新 HSK)	4 級以上(該当級:4 級、5 級、6 級)※GC 中国語コースは5 級以上※5、6 級については、3 パート合計180 点以上でクリア
	中国語検定試験	3 級以上(該当級:3 級、2 級、準1 級)※GC 中国語コースは2 級以上
	中国語コミュニケーション能力検定	400～1,000 点(該当級:レベル D、C、B、A)
	DELE	B1 以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
スペイン語	スペイン語技能検定	4 級以上(該当級:4 級、3 級、2 級、1 級)
ロシア語	ТРКИ	第1 レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4 レベル)
	ロシア語能力検定試験	2 級以上(該当級:2 級、1 級)
コリア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4 級以上(該当級:4 級、5 級、6 級)
	ハングル能力検定試験	準2 級以上(該当級:準2 級、2 級、1 級)
	KLAT (旧 KLPT)	4 級以上(該当級:4 級、5 級、6 級)※旧 KLPT は350～500 点

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはなりません。

II グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者

※TOEFL®およびTOEIC®はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

短期プログラム・EU キャンパスプログラム 統計

各プログラムの内容は変更になる可能性がありますので、出願する場合は、最新の情報を各プログラムHPにてご確認ください。

● 出願者数は、第1希望のみの人数です。

● 英語プログラム(スタンフォード大学を除く)の合格者数は合格発表時点の人数で、第2・第3希望として併願をしていたプログラムで合格した人数も含みます。

サマープログラム2025						
科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
サマープログラム・英語 A	ヨーク大学	イギリス	約 24 名	12 名	31 名	24 名
	ディーキン大学	オーストラリア	約 20 名	10 名	19 名	19 名
	ゲルフ大学	カナダ	約 25 名	15 名	20 名	22 名
	トンプソン・リバーズ大学(※)	カナダ	約 25 名	11 名	6 名	最少催行人員に満たなかったため休講
サマープログラム・英語 B	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	約 25 名	10 名	6 名	14 名
	コーク・カレッジ大学	アイルランド	約 15 名	1 名	16 名	15 名
	オークランド大学	ニュージーランド	約 30 名	3 名	18 名	17 名
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(※)	アメリカ	約 20 名	10 名	8 名	最少催行人員に満たなかったため休講
	ケンブリッジ大学	イギリス	約 34 名	30 名	34 名	34 名
サマープログラム・ドイツ語 B	マルティン・ルター大学	ドイツ	約 20 名	1 名	5 名	5 名
サマープログラム・フランス語	マリー・エルイ・パストゥール大学(旧:フランシュ＝コンテ大学)	フランス	約 25 名	5 名	6 名	6 名
サマープログラム・中国語 B	北京大学	中国	約 20 名	6 名	8 名	8 名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学(※)	メキシコ	約 20 名	5 名	0 名	最少催行人員に満たなかったため休講
サマープログラム・ロシア語	サンクトペテルブルク経済大学(※)	ロシア	休 講			
サマープログラム・コリア語	延世大学	韓国	約 20 名	7 名	16 名	16 名

※サマープログラム・英語 A(トンプソン・リバーズ大学)は、最少催行人員に満たなかったため2025年度は休講。
※サマープログラム・英語 B(カリフォルニア大学デービス校)、サマープログラム・英語 B(カリフォルニア大学サンディエゴ校)は、共に最少催行人員に満たなかったため、第2希望までを含めより多くの学生が参加できるカリフォルニア大学デービス校のみプログラムを催行し、カリフォルニア大学サンディエゴ校は2025年度は休講。
※スペイン語(ラス・アメリカス大学)は、最少催行人員に満たなかったため2025年度は休講。
※ロシア語(サンクトペテルブルク経済大学)は隔年で実施しており、最終実施は2018年度です。

スプリングプログラム2025						
科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
スプリングプログラム・英語 A	ホーソン・メルボルン英語学校	オーストラリア	約 25 名	20 名	55 名	30 名
	ヨーク大学	イギリス	約 24 名	10 名	34 名	24 名
	オタゴ大学	ニュージーランド	約 30 名	10 名	27 名	30 名
スプリングプログラム・英語 B	オークランド大学	ニュージーランド	約 30 名	12 名	25 名	30 名
スプリングプログラム・英語 C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	約 19 名	10 名	8 名	11 名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	約 20 名	1 名	6 名	5 名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	約 20 名	5 名	5 名	4 名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学	中国	約 20 名	1 名	12 名	12 名
スプリングプログラム・スペイン語 B	サラマンカ大学	スペイン	約 20 名	10 名	12 名	12 名
スプリングプログラム・コリア語	慶熙大学	韓国	約 20 名	1 名	15 名	14 名

セメスタープログラム2025

科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
セメスタープログラム・英語 I、II	ウィニベグ大学	カナダ	約 30 名	10 名	36 名	中止
	ディーキン大学	オーストラリア	約 30 名	10 名	18 名	30 名
	ハワイ大学マノア校	アメリカ	約 30 名	7 名	0 名	6 名

※ウィニベグ大学のプログラムは募集後に研修先の閉鎖が決まったため、中止した。

EU キャンパスプログラム2026

プログラム名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム	同志社大学チュービンゲン EU キャンパス(チュービンゲン大学)	ドイツ	約 15 名	10 名	22 名	15 名
ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム	同志社大学チュービンゲン EU キャンパス(チュービンゲン大学)	ドイツ	約 16 名	10 名	42 名	16 名

派遣留学(大学間協定)プログラム 統計

各大学の募集人数・出願要件は変更になる可能性がありますので、
出願する場合は、最新の出願要件を国際課HPのプログラムリストにてご確認ください。

プログラムリスト <https://studyabroad.doshisha.ac.jp/search>



- 募集人数・出願者数・候補者数は、学部生／大学院生の合計人数です。
- 募集人数は、留学期間半年間を0.5人、1年間を1人とカウントします。
- 出願要件は、【2026-27年度】の〔学部課程〕への出願要件(簡略版)です。【2026-27年度】が「募集なし」の場合は、【2025-26年度】の〔学部課程〕への出願要件を記載しています。〔大学院課程〕への出願要件は、プログラムリスト参照)
- 出願要件「英語」「英語以外」は、どちらかの出願言語を選択し、選択した言語の語学スコアのいずれかを満たす必要があります。

■ アジア

国 / 地域	留学先大学	2025-26年度					2026-27年度					出願要件					
		募集 集人数	出願者数			候補 者数	募集 集人数	出願者数			候補 者数	GPA (学部生)	英語			英語以外	
			第1 希望	第2 希望	第3 希望			第1 希望	第2 希望	第3 希望			TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
インドネシア	ガジャマダ大学	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	3.00	500	70	5.5	—	—
タイ	タマサート大学	2	1	0	0	1	2	1	1	0	2	2.80	—	61	6.0	—	—
	チュラロンコン大学	2	0	0	0	0	募集なし					2.75	—	79	6.0	—	—
	パヤップ大学	2	0	0	0	0	募集なし					2.50	500	61	5.5	—	—
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2	0	1	0	0	2	1	0	0	1	2.80	—	79	6.0	—	—
	デラサル大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	79	6.0	—	—
	フィリピン大学ディリマン校	1	2	1	0	2	1	2	1	0	1	2.00	500	61	5.5	—	—
ベトナム	ハノイ工科大学	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
マレーシア	マラヤ大学	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3.00	—	80	6.0	—	—
	マレーシア国際イスラーム大学	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	60	5.5	—	—
	マレーシア科学大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.00	543	79	5.5	—	—
中国 (台湾・香港を除く)	中国人民大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	90	6.5	中国語	C2
	北京大学歴史学部	2	0	1	0	0	2	0	1	0	1	2.50	—	—	—	中国語	C2
	北京師範大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	80	6.0	中国語	C1
	吉林大学	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	79	6.0	中国語	B2
	天津外国語大学	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2.00	—	—	—	中国語	A2
	復旦大学	2	0	0	0	0	3	0	2	1	1	3.00	—	90	6.5	中国語	C1
	暨南大学	2	0	0	0	0	募集なし					2.00	—	70	5.5	中国語	C1
	武漢大学	2	0	0	0	0	2	1	1	0	2	2.00	—	60	5.5	中国語	B2
	清華大学	1	2	0	0	1	1	4	0	0	1	2.00	—	93	6.5	中国語	C1
	西北大学	2	0	0	0	0	募集なし					2.00	—	80	6.0	中国語	B2
香港	西安交通大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	中国語	C1
	嶺南大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	—	79	6.0	—	—
	香港中文大学	4	2	0	1	2	4	0	0	0	0	3.00	—	80	6.0	—	—
	香港城市大学	3	0	0	1	0	3	0	0	0	0	2.00	550	79	6.5	—	—
	香港教育大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	—	80	6.0	—	—
台湾	中国文化大学	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2.00	500	64	5.5	中国語	B1
	国立台湾大学	5	0	0	0	0	5	1	1	0	1	3.00	543	72	5.5	中国語	B1
	国立台湾師範大学	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3.00	—	80	6.5	中国語	C1
	国立政治大学	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2.75	550	80	6.0	中国語	B2
	東呉大学	2	0	1	0	0	2	0	3	0	0	2.00	500	60	5.5	中国語	A2
	淡江大学	2	1	1	1	1	2	0	2	2	1	2.00	500	61	5.5	中国語	B1
	輔仁(フージェン・カトリック)大学	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2.00	500	60	5.5	中国語	C1
	静宜大学	2	0	0	0	0	募集なし					2.50	500	61	5.5	中国語	A2
韓国	ソウル大学	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2.50	—	88	6.0	コリア語	C1
	ソウル女子大学	2	1	0	1	1	2	0	1	0	2	2.00	500	60	5.5	コリア語	A2
	ソウル市立大学	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	2.50	500	60	5.5	コリア語	A2
	仁川大学	2	0	2	1	0	2	0	0	2	0	2.20	—	60	5.5	コリア語	A2
	全南大学	5	0	0	1	0	3	0	0	0	0	2.00	—	60	5.5	コリア語	B1
	嶺南大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.70	500	60	5.5	コリア語	A2
	延世大学	0.5	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2.50	—	79	6.5	コリア語	B2
	梨花女子大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.50	500	60	5.5	コリア語	A2
	韓国外国語大学	5	1	1	0	1	2	1	0	0	1	2.50	550	80	6.0	コリア語	B1
	高麗大学	2	1	0	1	1	2	1	0	0	1	2.50	500	60	5.5	コリア語	A2

■ オセアニア

国/地域	留学先大学	2025-26年度					2026-27年度					出願要件					
		募集 人数	出願者数			候補 者数	募集 人数	出願者数			候補 者数	GPA (学部生)	英語			英語以外	
			第1希望	第2希望	第3希望			第1希望	第2希望	第3希望			TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
オーストラリア	ウーロンゴン大学	2	5	2	0	3	2	0	1	3	0	2.70	550	79	6.0	—	—
	サンシャイン・コースト大学	1	1	1	4	1	1	2	1	1	1	2.50	—	76	6.0	—	—
	シドニー大学	5	0	4	0	0	5	1	2	0	1	3.00	—	85	6.5	—	—
	チャールズ・ダーウィン大学	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2.00	—	60	6.0	—	—
	ディーキン大学	1	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2.60	—	69	6.0	—	—
	ニュー・サウス・ウェールズ大学	3	2	1	0	2	3	0	2	1	0	3.00	—	90	6.5	—	—
	ニュー・サウス・ウェールズ大学【ブリッジプログラム】	2	1	2	0	2	2	5	0	0	2	3.00	—	65	5.5	—	—
	ニューイングランド大学	2	1	4	1	1	2	0	1	0	1	2.00	—	79	6.0	—	—
	マードック大学	3	4	1	2	4	3	1	2	1	2	2.00	—	73	6.0	—	—
	マッコーリー大学	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2.50	—	83	6.5	—	—
ニュージーランド	メルボルン大学	3	3	0	0	3	2	3	1	0	3	3.00	—	79	6.5	—	—
	ウェリントン・ビクトリア大学	2	4	0	2	3	3	2	1	0	2	2.70	—	80	6.0	—	—

■ 北中南米

国 / 地域	留学先大学	2025-26年度					2026-27年度					出願要件					
		募集 人数	出願者数			候補 者数	募集 人数	出願者数			候補 者数	GPA (学部生) ※3	英語			英語以外	
			第 1 希 望	第 2 希 望	第 3 希 望			第 1 希 望	第 2 希 望	第 3 希 望			TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アメリカ	ウィットマン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	85	7.0	—	—
	ウィリアムズ大学 [AKP-General]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	ウェズリアン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.5	—	—
	オーバリン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	カールトン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	コネチカット大学 [AKP-General]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	コルビー大学 [AKP-General]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	スミス大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	スミス大学 [AKP-Individual]	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	バックネル大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	ベイツ大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	ボモナ大学 [AKP-General]	※1	1	0	0	1	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	マウントホリヨーク大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	イェール大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	エモリー大学 [KCJS]	募集なし					※2	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	コーネル大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	コロンビア大学 [KCJS]	※2	1	1	0	1	募集なし					—	—	—	—	—	—
	シカゴ大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
	スタンフォード大学 [KCJS]【大学院のみ】	※2	0	0	0	0	募集なし					—	—	—	—	—	—
	バージニア大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—
ハーバード大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—	
プリンストン大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—	
ブラウン大学 [KCJS]	募集なし					※2	0	0	1	0	3.00	—	100	7.0	—	—	
ペンシルベニア大学 [KCJS]	募集なし					※2	0	1	0	0	3.00	—	100	7.0	—	—	
ボストン大学 [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—	
ワシントン大学セントルイス [KCJS]	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—	

■ 北中南米(つづき)

国 / 地域	留学先大学	2025-26年度					2026-27年度					出願要件					
		募集 集人数	出願者数			候補 者数	募集 集人数	出願者数			GPA (学部生) ※	英語			英語以外		
			第1 希望	第2 希望	第3 希望			第1 希望	第2 希望	第3 希望		候補 者数	TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アメリカ	アーカンソー工科大学	2	5	1	4	3	2	2	2	0	2	2.00	500	61	5.5	—	—
	ウエスタンミシガン大学	1	3	4	5	1	1	6	2	4	1	2.50	—	61	5.5	—	—
	ウエスタンミシガン大学【学費負担型】	10	0	0	0	0	10	0	0	1	0	2.50	—	71	6.0	—	—
	エンブリーリドル航空大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.30	—	79	6.0	—	—
	カラマズ大学	募集なし					3	2	0	0	2	3.00	550	84	6.5	—	—
	カリフォルニア大学	15	12	3	5	12	10	10	1	0	11	3.00	550	80	6.5	—	—
	コロラド大学ボルダー校	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1	2.50	—	75	6.5	—	—
	サルベ・レジーナ大学	2	4	4	2	3	1	2	1	0	1	2.70	—	60	6.0	—	—
	サルベ・レジーナ大学【学費負担型】	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.70	—	60	6.0	—	—
	サンディエゴ州立大学	1	0	2	2	0	1	1	0	1	1	2.50	—	80	6.5	—	—
	スタンフォード大学【大学院のみ】	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.50	—	100	7.0	—	—
	セント・メアリーズ大学	2	1	0	0	1	2	0	1	0	0	3.00	—	80	6.0	—	—
	デンバー大学	募集なし					1	0	1	0	0	2.00	—	80	6.5	—	—
	ニューオーリンズ大学	1	0	0	0	0	募集なし					2.25	550	79	6.5	—	—
	ネブラスカ大学カーニー校	3	2	5	1	4	募集なし					2.00	530	61	5.5	—	—
	ネブラスカ大学カーニー校【学費負担型】	10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	2.00	530	61	5.5	—	—
	ノースカロライナ大学シャーロット校	2	4	1	6	2	3	1	5	4	4	2.00	523	70	6.0	—	—
	ノースカロライナ大学シャーロット校【学費負担型】	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2.00	523	70	6.0	—	—
	ハワイ大学ヒロ校	2	1	6	2	2	2	1	5	1	3	3.00	500	61	5.5	—	—
	ハワイ大学ヒロ校【学費負担型】	5	0	0	0	0	5	0	0	1	1	3.00	500	61	5.5	—	—
ハワイ大学マノア校	0.5	1	1	0	1	0.5	3	0	3	1	2.50	500	61	6.0	—	—	
ハワイ大学マノア校【学費負担型】	5	0	0	0	0	5	0	0	1	0	2.50	500	61	6.0	—	—	
ポートランド州立大学	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—	
マレー州立大学	0.5	0	0	0	1	0.5	0	0	0	0	2.00	—	71	6.0	—	—	
マレー州立大学【学費負担型】	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2.00	—	71	6.0	—	—	
ミズーリ大学	3	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2.50	—	79	6.5	—	—	
ミリキン大学	2	0	1	0	1	1.5	1	4	1	2	2.50	—	69	5.5	—	—	
モンタナ大学	1	2	1	2	1	0.5	0	0	1	1	2.80	—	70	6.0	—	—	
ユタ大学	3	0	1	0	1	3	1	2	0	1	2.60	—	80	6.5	—	—	
リンフィールド大学	2	0	0	0	0	2	0	1	1	0	2.75	550	80	6.5	—	—	
ロチェスター工科大学	1	0	0	0	0	1	1	2	0	1	2.50	—	80	6.0	—	—	
アルゼンチン	トルキュアト・ディ・テラ大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	3.00	547	78	6.0	スペイン語	B2	
カナダ	ビクトリア大学	1	2	1	0	1	1.5	1	1	2	1	2.00	—	90	6.5	—	—
	ビショップス大学	2	0	0	1	0	2	2	3	1	2	2.70	583	90	6.5	—	—
	ブリティッシュ・コロンビア大学	5	1	8	1	2	5	5	1	2	5	3.00	—	90	6.5	—	—
	モントリオール大学文理学部	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	—	90	6.5	フランス語	B2
	レイクヘッド大学	1	2	0	1	2	1	3	1	2	1	2.00	—	78	6.0	—	—
ロイヤルローズ大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	88	6.5	—	—	
チリ	チリ・カトリカ大学	5	0	0	0	0	5	0	0	0	3.00	—	75	6.0	スペイン語	B2	
メキシコ	ラス・アメリカス大学	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2.00	550	80	5.5	スペイン語	B2

※【大学院のみ】募集の場合は大学院課程の要件を記載しています。

■ 中近東

国/地域	留学先大学	2025-26年度				2026-27年度				出願要件					
		募集 人数	出願者数			募集 人数	出願者数			GPA (学部生)	英語			英語以外	
			第1 希望	第2 希望	第3 希望		第1 希望	第2 希望	第3 希望		TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
イスラエル	ヘブライ大学	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—
トルコ	サバンチ大学	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—
	中東工科大学	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—

■ ヨーロッパ

国/地域	留学先大学	2025-26年度					2026-27年度					出願要件					
		募集 人数	出願者数			候補 者数	募集 人数	出願者数			候補 者数	GPA (学部生)	英語			英語以外	
			第1 希望	第2 希望	第3 希望			第1 希望	第2 希望	第3 希望			TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アイルランド	ダブリン・シティ大学人文社会科学部	4	0	0	0	0	4	1	0	3	2	3.00	580	92	6.5	—	—
アゼルバイジャン	ハザール大学	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	
イギリス	ウォーリック大学	2	0	0	1	0	2	0	1	1	1	3.00	—	92	6.5	—	—
	エディンバラ大学	4	1	3	3	1	3	7	4	2	4	3.00	—	92	6.5	—	—
	シェフィールド大学	2	2	2	1	2	2	2	5	3	3	3.00	—	80	6.0	—	—
	マンチェスター大学	2	1	2	2	1	2	0	2	1	0	3.00	—	90	6.5	—	—
	リーズ大学	4	5	2	2	4	4	8	2	3	5	3.00	—	80	6.0	—	—
	ロンドン大学(SOAS)	2	2	0	1	2	2	1	2	1	2	3.30	—	95	6.0	—	—
イタリア	ヴェネツィア大学	2	0	1	2	2	2	1	2	3	2	2.00	—	72	5.5	イタリア語	B2
	トリノ大学	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2.00	500	60	5.5	イタリア語	B1
	パローニャ大学	1	2	3	3	1	1	5	4	2	1	2.00	500	60	5.5	イタリア語	B1
	ミラノ大学 言語文化・異文化コミュニケーション学科	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	イタリア語	B1
	ローマ大学	1	2	1	4	1	1	1	4	4	1	2.00	500	60	5.5	イタリア語	B2
オランダ	ハーグ応用科学大学	1	0	3	2	1	1	1	1	1	1	2.00	—	80	6.0	—	—
	ライデン大学	3	0	0	1	0	3	0	2	2	2	3.00	—	90	6.5	—	—
スイス	チューリヒ大学	5	0	2	1	0	5	1	0	1	1	2.00	—	90	6.5	ドイツ語	C1
	ルツェルン大学	2	1	0	1	1	2	0	1	0	0	2.00	—	85	6.5	ドイツ語	C1
スウェーデン	ヨーテボリ大学経済商法学部	2	1	0	1	1	2	1	0	0	1	2.00	—	79	6.5	—	—
スペイン	サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2.00	—	78	6.0	スペイン語	B1
	サラマンカ大学	4	1	0	0	1	4	0	0	0	0	2.00	—	—	—	スペイン語	B1
	バルセロナ自治大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	スペイン語	B1
	ボンベウファブラ大学	1	3	0	0	1	1	4	0	1	2	2.00	—	78	6.0	スペイン語	B1
チェコ	カレル大学	1	1	0	3	1	1	8	2	0	1	2.50	543	72	5.5	—	—
	西ボヘミア大学	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2.00	—	78	6.0	—	—
	マサリク大学	2	1	4	1	1	2	4	4	3	2	2.50	513	70	5.5	—	—
デンマーク	オーフス大学教養学部	2	0	2	0	0	2	2	0	0	2	2.00	—	83	6.5	—	—
ドイツ	オスナブリック大学	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2.00	—	80	6.0	ドイツ語	B2
	チュービンゲン大学	2	5	0	2	2	3	1	1	2	1	2.00	—	78	6.0	ドイツ語	B2
	デュッセルドルフ大学	2	4	3	1	3	2	3	2	2	2	2.00	500	60	5.5	ドイツ語	B1
	フランクフルト大学	2	0	0	0	0	2	2	4	5	3	2.00	—	72	5.5	ドイツ語	B1
	マインツ大学	2	2	3	1	2	2	2	5	2	2	2.00	527	71	5.5	ドイツ語	B1
	ミュンヘン大学文化学部	2	1	3	1	3	2	4	1	1	3	2.00	—	72	5.5	ドイツ語	B2
ノルウェー	オスロ大学	4	7	6	0	4	2	12	8	7	4	2.00	—	60	5.5	—	—
	ベルゲン大学	4	1	6	2	4	4	7	5	5	6	2.00	—	60	5.5	—	—
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	2	1	1	0	2	2	1	3	3	2	2.00	547	78	6.0	—	—
	ペーチ大学	2	1	0	0	2	2	0	1	2	2	3.00	—	72	5.5	—	—
フィンランド	イースタン・フィンランド大学	2	0	0	0	0	2	1	0	1	1	2.00	550	79	6.0	—	—
	タンペレ大学	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2.00	—	92	6.5	—	—
	ヘルシンキ大学	3	3	2	3	3	3	1	2	1	1	2.00	550	79	6.0	—	—
	エクス・マルセイユ大学	2	4	0	0	3	2	2	0	0	2	2.00	—	72	5.5	フランス語	B1
フランス	エクセリア・グループ	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2.00	—	79	6.0	フランス語	B2
	サンジェルマン・アン・レー政治学院	2	2	3	0	2	2	1	1	2	1	2.00	—	72	6.0	フランス語	B2
	ストラスブール大学	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2.00	—	—	—	フランス語	B1
	ソルボンヌ大学 文系学部	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B2
	パリ大学－ナンテール	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B1
	パリ政治学院	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3.00	—	100	7.0	フランス語	B2
	リヨン政治学院	2	2	1	0	2	2	3	1	0	3	2.00	547	78	6.0	フランス語	B2
	レンヌ政治学院	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B2
	国立東洋言語文化大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	A2
ベルギー	トマスモア応用科学大学	2	1	0	0	1	2	1	0	0	2	2.00	—	79	6.0	—	—
	ブリュッセル自由大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B1
ポーランド	ヤギェウォ大学	1	2	1	2	1	1	4	2	1	2	2.00	543	65	5.5	—	—
	ワルシャワ大学	1	2	4	3	1	1	2	5	2	1	2.00	—	72	5.5	—	—
リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	2.80	543	72	5.5	—	—
ルーマニア	ブカレスト大学	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	2.50	547	78	6.0	フランス語	B2
ロシア	サンクトペテルブルク経済大学	募集なし					募集なし					—	—	—	—	—	—

同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

（目的）
第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。
（定義）
第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生（以下「派遣留学生」という。）とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。
（取扱）
第3条 派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱に関する内規」の定めるところによる。
（出願条件）
第4条 派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。
（義務）
第5条 派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。
（推薦方法）
第6条 派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務（国際）主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。
（候補者の決定）
第7条 派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入決定に基づき、学長がこれを行う。
（留学期間）
第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務（国際）主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。
（事務）
第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際課が取り扱う。
（改廃）
第10条 この内規の改廃は、教務（国際）主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。
附 則
この内規は、2026年4月1日から施行する。

同志社大学外国派遣留学促進のための奨学金規程

（目的）
第1条 この規程は、本学の教育理念である国際主義を体得した学生を養成すべく学生の外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金について定める。
（奨学金の種類）
第2条 奨学金の種類は、次のとおりとする。 （1） 海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金 （2） サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金 （3） セメスタープログラム履修者に対する奨学金 （4） EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金 （5） 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金 （6） 認定留学生に対する奨学金
（奨学金の取扱）
第3条 奨学金の取扱については、別途、申合せにて定める。
（事務）
第4条 この規程に関する事務は、国際連携推進機構国際課が取り扱う。
（改廃）
第5条 この規程の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。
附 則
この規程は、2026年4月1日から施行する。

外国の大学に留学する学生の取扱に関する内規

（設置）
第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として同志社大学学則第27条の2、同志社大学大学院学則第20条の2、同志社大学専門職大学院学則第29条又は同志社大学法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。
（教育機関の定義）
第2条 この内規において外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。 2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。
（留学の定義）
第3条 この内規において留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。
（条件）
第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。 ただし、大学院学生には適用しない。 （1） 本学に1年以上在学していること。 （2） 30単位以上修得していること。 2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。
（学籍）
第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱は、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。
（期間）
第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。 2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。
（履修）
第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。
（学生納付金）
第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。
（手続）
第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を経て学長に提出するものとする。 2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。 3 在学留学期間の延長を願ひ出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を経て学長に提出するものとする。
（単位認定）
第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類（留学した大学の発行するもの）を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。 （1） 成績証明書（時間数、単位数、科目名を明記したもの） （2） 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの （3） 受講した科目の内容を説明した教授細目 （4） 大学履修要項 2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。
（帰国後の登録及び履修）
第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。
（事務）
第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際課が取り扱う。
（改廃）
第13条 この内規の改廃は、教務（国際）主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。
附 則
この内規は、2026年4月1日から施行する。

お問い合わせ先

同志社大学国際課（扶桑館1階）

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL：075-251-3260

Email：ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp

HP：https://international.doshisha.ac.jp/oia/index.html



国際課（京田辺校地嗣業館1階）

TEL：0774-65-7066

国際課HP（留学プログラム）

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/overview.html

